

●総合英語 I (Fc)	1
●総合英語 I (Fa)	2
●総合英語 I (P18)	3
●総合英語 I (Lb)	4
●総合英語 I (Ld)	5
●総合英語 I (Lf)	6
●総合英語 I (P19)	7
●総合英語 I (Lc)	8
●総合英語 I (Fb)	9
●総合英語 I (Kd)	10
●総合英語 I (Le)	11
●総合英語 I (Kc)	12
●総合英語 I (Eh)	13
●総合英語 I (Ef)	14
●総合英語 I (Eg)	15
●総合英語 I (Ee)	16
●総合英語 I (La)	17
●総合英語 I (Ed)	18
●総合英語 I (Ea)	19
●総合英語 I (Ec)	20
●総合英語 I (Eb)	21
●総合英語 I (Te)	22
●総合英語 I (Ti)	23
●総合英語 I (Tj)	24
●総合英語 I (Tc)	25
●総合英語 I (M12)	26
●総合英語 I (M14)	27
●総合英語 I (Ta)	28
●総合英語 I (Tb)	29
●総合英語 I (D16・17)	30
●総合英語 I (M11)	31
●総合英語 I (Tg)	32
●総合英語 I (Tf)	33
●総合英語 I (Ka)	34
●総合英語 I (Kb)	35
●総合英語 I (Th)	36
●総合英語 I (M15)	37
●総合英語 I (Td)	38
●総合英語 I (M13)	39

2010年度 前期	曜日・校時 月3～	必修選択 必	単位数 1
授業コード 20100590009003 授業科目/(英語名)	●総合英語 I (Fc) Comprehensive English I		
対象年次 1年	講義形態 演習科目	教室 [全] 204	
対象学生(クラス等) Fc	科目分類 外国語科目		
担当教員(科目責任者) / Eメールアドレス/研究室/TEL/オフィスアワー 藤本 ゆかり / / 非常勤講師室 / 095-819-2078 (全学教育事務室) / 月曜日 2時30分より			
担当教員	藤本 ゆかり		
<b>授業のねらい/授業方法(学習指導法)/授業到達目標</b> <b>ねらい:</b> 海洋・水産を扱った、英文で書かれた興味深い英文を学ぶことにより、学習意欲を高め、英語の総合的な能力を伸ばし、リーディングスキルの能力を身に付ける。水産学で用いられる専門用語を習得する。水産に関する英語の長文を理解して読めるようになる。また、水産学を学ぶ上で、海洋・漁業・魚・環境保護について、さらなる興味と関心を深める。 <b>授業方法(学習指導法):</b> 予習を充分に行ってきた上で、英文を読み、理解度を確認し、読解の方法を指導する。語句や構文、文法事項に重点を置きながら、内容の正確な把握ができるようになる。テキストの練習問題により、説明と指導をしながら、語彙と文法事項の定着を図り、リーディングと英作文の能力を養う。資料等により、水産学についての、様々な問題を考える。 <b>到達目標:</b> 海洋や水産業について書かれた英文を読み、その内容の意味を正確に理解できる。英文の速読と精読ができるようになる。特に、リーディングの技能を高める。専門である水産学に対する関心を深める。また、それらについて考察し、自分の考えを持つようになり、将来の研究に備える。語句や文法事項の基礎的な力を確認し、さらにリーディングの応用力を伸ばす準備ができる。水産学に関する、英語で書かれた論文を読めるようになる。			
<b>授業内容(概要) / 授業内容(毎週毎の授業内容を含む)</b> 十分な予習を前提とした上で、テキストの英文の精読や速読を行い、正確な理解を図るべく、文章の内容を確認していきながら、語句や文法事項、及び、英文読解の方法や技術を指導します。英文の内容の理解が出来ていることを示すために、毎回発表をしてもらいます。その中で、水産学の専門的な知識を説明することにします。英文の読解力を高めることと、専門的な水産学の専門的な英語を習得することを、目標とします。本文の内容理解を確認するための練習問題を解き、その中で語彙や文法事項、また英作文の指導をします。さらに、テキストの、海をめぐる諸問題、及び、多様なテーマについての考察を行います。 日本は、国土のあり方からも、海との結びつきが非常に強く、また、日本人ほど、魚介類を始めとする日常生活において、海の幸に恩恵を受けている国民は、世界に類を見ないでしょう。テキストは、海洋・水産に関する、英語で書かれた文を集め、特色あるものです。豊かな海に恵まれた、水産業の盛んな長崎で、長崎大学水産学部に学ぶ幸せを思いながら、将来の専門の研究と関連付けて考えを深め、準備をして授業に臨んで下さい。			
第1回 4月12日 導入・授業内容の説明 第2回 4月19日 Chapter 1 巨大生物と生きた化石 第3回 4月26日 Chapter 2 水族館の魚 第4回 5月10日 Chapter 3 外来種の功罪 第5回 5月17日 Chapter 4 海面上昇の行方 第6回 5月24日 Chapter 5 代替魚 第7回 6月7日 Chapter 6 エチゼンクラゲの大発生 第8回 6月14日 Chapter 7 資源の宝庫としての海 第9回 6月21日 Chapter 8 フグ 第10回 6月28日 Chapter 9 マグロ 第11回 7月5日 Chapter 10 エル・ニーニョ現象 第12回 7月12日 Chapter 11 魚が食卓から消える日 第13回 7月26日 Chapter 12 農業と海 ― 生産と破壊 第14回 7月30日 Chapter 13 魚とタンパク質 第15回 8月2日 Chapter 14 スキューバダイビング 第16回目 8月9日 定期試験			
キーワード	リーディング・スキルの向上 / 水産学		
教科書・教材・参考書	Our Blue Planet 海をめぐる14章 (James A. Goddard 他: 南雲堂) 英和辞典 (電子辞書) を必携すること。資料を配布します。		
成績評価の方法・基準等	定期試験を筆記で行います。主に定期試験により評価をします。それに授業中の活動を加えます。定期試験90%、授業中の発表や活動10%を基準とします。また、受講中の態度を非常に重視します。		
受講要件(履修条件)	授業には、全回出席することを期待します。授業には、必ず予習をして臨みましょう。		
本科目の位置づけ / 学習・教育目標	リーディング・スキルを向上させる。英語のリーディングスキルを養い、定着を図る。水産学に対する興味を高め、知識を得、将来の研究と結び付ける。		
備考(準備学習等)	授業には、必ず予習をして臨んで下さい。予め英単語の意味を調べ、文章の大意を掴み、テキストの問題を解いておきます。		

2010年度 前期	曜日・校時 月3	必修選択 必	単位数 1
授業コード 20100590009002 授業科目/(英語名)	●総合英語 I (Fa) Comprehensive English I		
対象年次 1年	講義形態 演習科目	教室 [全] 303	
対象学生(クラス等) Fa	科目分類 外国語科目		
担当教員(科目責任者) / Eメールアドレス/研究室/TEL/オフィスアワー 井石 哲也 / iseki@kwassui.ac.jp / 非常勤講師室 / 活水女子大学 095-822-4107(代表) 内線 257 / 活水女子大学 井石研究室にて要確認			
担当教員	井石 哲也		
<b>授業のねらい/授業方法(学習指導法)/授業到達目標</b> <b>ねらい:</b> 英語読解力の養成および論理展開に関する理解 <b>授業方法(学習指導法):</b> 論説文、説明文、物語文等のさまざまなスタイルの英文を読みながら、論理構成を把握する。 <b>到達目標:</b> 使用テキスト(英字新聞の記事)の英文を1分間に120~130 wordsの読解力を身につける。これを実際の新聞読解に役立て、情報や社会情勢等を分析的に理解する力を養成することを目指す。			
<b>授業内容(概要)/授業内容(毎週毎の授業内容を含む)</b> 第1回 受講上の注意、テキストの使用法(第1章をサンプルとして)と授業の進め方について説明を行う。第2回~第14回は各回のトピックに従って英文の読解演習を行う。第15回は全体のレビュー、第16回8月9日に定期試験を実施する。 第1回 4月12日 導入、テキスト: Slice, Dice and Play(以下各回のトピックを示す) 第2回 4月19日 Saving Traditional Food 第3回 4月26日 The Basket Project 第4回 5月10日 The Mods and Rockers 第5回 5月17日 Winning the Golden Ticket 第6回 5月24日 Great Lady of Nazca 第7回 6月7日 Who's Smarter? 第8回 6月14日 Of Walls and Eggs 第9回 6月21日 Vertical Farming 第10回 6月28日 Is it Dance or Martial Art? 第11回 7月5日 The Ubiquitous Bow 第12回 7月12日 How Do You Start? 第13回 7月26日 People on the Move 第14回 7月30日 Hot Coffee, Please! 第15回 8月2日 まとめ 第16回 8月9日 定期試験			
キーワード			
教科書・教材・参考書	Reading Wizard (Kinseido, 2010)		
成績評価の方法・基準等	定期試験 70点、授業への取りくみ(発表等) 30点		
受講要件(履修条件)			
本科目の位置づけ/学習・教育目標			
備考(準備学習等)			

2010年度 前期	曜日・校時 月3	必修選択 必	単位数 1
授業コード 20100590009001 授業科目/(英語名)	●総合英語 I (P18) Comprehensive English I		
対象年次 1年	講義形態 演習科目	教室 [全] CALL1	
対象学生(クラス等) P18	科目分類 外国語科目		
担当教員(科目責任者) / Eメールアドレス/研究室/TEL/オフィスアワー 小笠原 真司 / ogasa-s@nagasaki-u.ac.jp / 環境科学部 1階 / 095-819-2094 / 水2 木3 金5			
担当教員	小笠原 真司		
<b>授業のねらい/授業方法(学習指導法)/授業到達目標</b> <b>ねらい:</b> このクラスは、幕末の長崎における医学・薬学・工学に関する近代化の歴史を学びながら、リーディング力および専門に関する英単語を含めた語彙力の養成を行います。また、リスニングや音読の訓練も行い、音声面での強化も行います。 <b>授業方法(学習指導法):</b> 演習形式で行います。指定されたテキストは、その場で読んでもらい大意を取る練習をするとともに、細かな部分は家庭で精読してもらいます。指定された範囲をきちんと読んで、予習しておくことも大切です。また授業中に配布するプリント教材を用いて、リスニングの練習や専門語彙修得を図ります。 <b>到達目標:</b> テキストの英文を辞書なしでも大意がとれるようにします。語彙レベルでは、テキストで指定された Key Word 約 200 語およびテキスト中の Words and Phrases 約 300 語の計 500 語を確実に意味がわかるようにします。また、テキスト中に指定してある Key Sentence として、約 60 の構文が書けるようにします。同時に CD を使い、その構文が言えるようにします。			
<b>授業内容(概要)/授業内容(毎週毎の授業内容を含む)</b> 授業の最初には、英語構文や英単語の小テストを行います。これは、テキストからテスト範囲を毎回指定しますから、家庭で必ずテキストについている CD を使いながら学習してきてください。成績の 20%は、この小テストにて評価されます。その後、リーディングの練習をします。学生は指示された範囲や内容を必ず予習して授業に参加してください。ここでは、音読の練習も行います。英語のリズムや音から英語を学ぶことも大切です。また、このテキストを用いて、時間を制限して読んでもらい、大意をつかみ、必要な情報を読み取る練習をします。この教材は、家庭でさらに精読してきてもらいます。次回の授業において、その精読の確認を行います。 またプリント教材を用いて、リスニングの練習や語彙の強化の練習をします。 英語の力を維持し、さらに向上させるためには、大学での授業に加えて家庭での学習が必要となります。英語が苦手な学生もいると思いますが、担当者から指示された家庭学習や予習を行えば、必ず英語の力は向上します。がんばってください。			
第 1 回 オリエンテーション Unit 1. Dr. Broek as a Teacher of Western Technology (1) 第 2 回 Unit 2. Dr. Broek as a Teacher of Western Technology (2) 第 3 回 Unit 3. Pompe: Founder of the First Medical School in Japan (1) 第 4 回 Unit 4. Pompe: Founder of the First Medical School in Japan (2) 第 5 回 Unit 5. The Dutch Navy and the Transfer of Technology to Japan (1) 第 6 回 Unit 6. The Dutch Navy and the Transfer of Technology to Japan (2) 第 7 回 Unit 7. The Dutch Navy and the Transfer of Technology to Japan (3) 第 8 回 Unit 8. The Dutch Navy and the Transfer of Technology to Japan (4) 第 9 回 Unit 9. The Introduction of Western-Style Chemistry and Pharmacy 第 10 回 Unit 10. The Dutch Steamship Company and its Dealings with Japan (1) 第 11 回 Unit 11. The Dutch Steamship Company and its Dealings with Japan (2) 第 12 回 Unit 12. The Dutch Steamship Company and its Dealings with Japan (3) 第 13 回 Unit 13. Steam Factory Nagasaki 1856 第 14 回 Unit 14. Growth 1861-1865 第 15 回 Unit 15. Further Reading Medicine around 1850 an Overview 必修語彙 500 および基本構文 60 の確認 第 16 回 定期試験 (2010 年 8 月 9 日)			
キーワード	スキミング、スキヤニング、キーワードリーディング、フレーズリーディング、リピーティング		
教科書・教材・参考書	教科書(テキスト): Pioneers of Western-Style Medical Education and Modern Technology in Japan (EIKO-SHA) (CD付) 1,900 円(第 1 回目の授業時に教室にて販売します) 教材: プリント教材 毎回配布します。		
成績評価の方法・基準等	成績評価は、 ○定期試験 70%、毎回の小テスト 20%、授業中の発表 10%で行います。		
受講要件(履修条件)	全回出席が原則。教科書も必ず購入すること。		
本科目の位置づけ /学習・教育目標			
備考(準備学習等)			

2010年度 前期	曜日・校時 月4	必修選択 必	単位数 1
授業コード 20100590009004 授業科目/(英語名)	●総合英語 I (Lb) Comprehensive English I		
対象年次 1年	講義形態 演習科目	教室 [全] 205	
対象学生(クラス等) Lb	科目分類 外国語科目		
担当教員(科目責任者) / Eメールアドレス/研究室/TEL/オフィスアワー 大坪 有実 / r_otsubo@hotmail.co.jp / 非常勤講師控室 / / 火曜日 12:00~12:50 非常勤講師控室			
担当教員	大坪 有実		
<b>授業のねらい/授業方法(学習指導法)/授業到達目標</b> <b>ねらい:</b> 英語の4技能 読む・書く・聞く・話すのうち、読む、話すことに重点を置く。 チャンク(意味の塊)によるリーディング法を学び、英文をセンテンス単位に拘らず、 意味の塊で左から右へと理解できるようになることをねらいとする。 また、その練習を通して速読スピードをあげることをねらいとする。 <b>授業方法(学習指導法):</b> 主として講義によるが、グループ・ワークを一部組み入れる。 <b>到達目標:</b> ・精読と速読の違いが理解できる。 ・チャンク(意味の塊)によるリーディング方法を理解し、読解に使用できる。 ・トピックセンテンスを見つけ、英文を要約することができる。			
<b>授業内容(概要)/授業内容(毎週毎の授業内容を含む)</b> 授業は大きく前半と後半からなる。 授業の前半は、既習文法の再確認しながら英文を精読する。 授業の後半は、チャンク(意味の塊)によるリーディング法を学び、その練習をする。 第1回 4月12日 教科書販売 ・ Introduction 第2回 4月19日 All You Have to Do Is Press a Key 第3回 4月26日 Why Does It Feel Easier to Run Counter-clockwise? 第4回 5月10日 Crusaders: Their Influence Is Still Felt 第5回 5月17日 Beethoven, the First Composer to Keep His Independence 第6回 5月24日 The Plague Carried by Rats 第7回 6月7日 You Could Be a Great Runner 第8回 6月14日 The Face That Tells the Truth 第9回 6月21日 Character and Blood Type-It's Easy to Trick Ourselves 第10回 6月28日 15minute Naps Will Make You a Genius 第11回 7月5日 If We Didn't Eat So Many Hamburgers, ... 第12回 7月12日 What Happens When You Use a Barcode Reader? 第13回 7月26日 You Can't Lie Without Showing It 第14回 7月30日 Prehistoric Creatures 第16回 8月9日 定期試験 第15回 8月2日 Family Names or Given Names: Which Are Better?			
キーワード			
教科書・教材・参考書	Power Reading 1 -Reading in Chunks- 成美堂 (¥1,800+税)		
成績評価の方法・基準等	定期試験 60点 授業中の課題に対する積極的な取組状況 10点 小テスト及び出席状況 30点		
受講要件(履修条件)	辞書を持参すること。 予習をして授業に参加すること。		
本科目の位置づけ/学習・教育目標			
備考(準備学習等)			

2010年度 前期	曜日・校時 火2	必修選択 必	単位数 1
授業コード 20100590009008 授業科目/(英語名)	●総合英語 I (Ld) Comprehensive English I		
対象年次 1年	講義形態 演習科目	教室 [全] 302	
対象学生(クラス等) Ld	科目分類 外国語科目		
担当教員(科目責任者) / Eメールアドレス/研究室/TEL/オフィスアワー 川島 浩勝 / / 長崎外国語大学 3階 334 研究室 / 095-840-2000 (内線 334) / 授業終了後、質問を受けつける。 また、話し合いにより、後日、時間を設定する場合がある。			
担当教員	川島 浩勝		
授業のねらい/授業方法(学習指導法)/授業到達目標 ねらい:英語のリスニングとリーディングにおける情報処理能力を高める。 授業方法(学習指導法):様々なタスクを用い、リスニングとリーディングにフォーカスをあてた授業を行う。受講者が自己の英語力を客観的に把握・理解できる場面が用意され、同時に、リスニングとリーディングの学習法を学べるように授業が組み立てられている。 到達目標:本授業の到達目標は、1) 口語英語のスピード・イントネーション・リズムに対応できる、2) 語彙力のアップ、3) 英語のミニマルペアーの聞き分けができる、4) リスニングのスピードで文の処理・理解ができるようになる、5) 英語の音読ができるようになる、である。			
授業内容(概要)/授業内容 第1回: 授業方針の説明・英語力診断テスト 第2回~第7回: 90分授業を大まかに下記の4つのパートに分け授業を行う。 A: Extensive Listening 1 (アメリカの家族生活を題材とした DVD: Level 1) B: 語彙力アップ(Level 1) C: ミニマルペアーの識別練習 D: 音声レベルにおける文理解 第8回: 授業内容 A)~D) のまとめ・リスニング力把握テスト(1) 第9回~第14回: 90分授業を大まかに下記の4つのパートに分け授業を行う。 E: Extensive Listening 2 (アメリカの家族生活を題材とした DVD: Level 2) F: 語彙力アップ(Level 2) G: ストーリー・リスニング&リーディング (Level 1) H: G の内容理解およびその音読 第15回: 授業内容 E)~H) のまとめ・リスニング力把握テスト(2) 第16回: 定期試験(8月3日)			
第1回 2010.4.13 授業方針の説明・英語力診断テスト 第2回 2010.4.20 上記の授業内容 (A-D) 第3回 2010.4.27 上記の授業内容 (A-D) 第4回 2010.5.11 上記の授業内容 (A-D) 第5回 2010.5.18 上記の授業内容 (A-D) 第6回 2010.5.25 上記の授業内容 (A-D) 第7回 2010.6.1 上記の授業内容 (A-D) 第8回 2010.6.8 授業内容 A)~D) のまとめ・リスニング力把握テスト(1) 第9回 2010.6.15 上記の授業内容 (E-H) 第10回 2010.6.22 上記の授業内容 (E-H) 第11回 2010.6.29 上記の授業内容 (E-H) 第12回 2010.7.6 上記の授業内容 (E-H) 第13回 2010.7.13 上記の授業内容 (E-H) 第14回 2010.7.20 上記の授業内容 (E-H) 第15回 2010.7.27 授業内容 E)~H) のまとめ・リスニング力把握テスト(2) 第16回: 定期試験(8月3日)			
キーワード	リスニング・語彙力・ミニマルペアー・リーディング・文理解・音読		
教科書・教材・参考書	基本的にはプリント教材を配布するが、第1回目の授業で実施する英語力診断テストの結果によっては、副教材を購入する場合がある。		
成績評価の方法・基準等	定期考査70%・小テスト10%・レポート20%とする。なお、欠席1回でマイナス7点(正当な理由がある場合は考慮する)となる等の「授業ルール」があるので注意すること。詳細は、第1回目の授業で配布する資料を参照すること。		
受講要件(履修条件)			
本科目の位置づけ/学習・教育目標			
備考(準備学習等)			



2010年度 前期	曜日・校時 火2	必修選択 必	単位数 1
授業コード 20100590009007 授業科目/(英語名)	●総合英語 I (Lf) Comprehensive English I		
対象年次 1年	講義形態 演習科目	教室 [全] CALL1	
対象学生(クラス等) Lf	科目分類 外国語科目		
担当教員(科目責任者) / Eメールアドレス/研究室/TEL/オフィスアワー 西原 俊明 / t-nishi@nagasaki-u.ac.jp / / 095-819-2095 / 火曜日 12:50~13:30 他は、only by appointment			
担当教員	西原 俊明		
<b>授業のねらい/授業方法(学習指導法)/授業到達目標</b> <b>ねらい:</b> 基礎的な英語運用能力を高めることを授業のねらいとする。特に、音声言語によるコミュニケーション能力向上を目指す。また、既習の語彙を用いた表現力の幅をひろげるため、Plain English に関する講義を併せて行い、表現力向上を目指す。 <b>授業方法(学習指導法):</b> 授業の前半では、日本人学習者が抱えるリスニング上の問題点を理解する訓練、速読の訓練、表現力を養う Plain English による表現練習を行う。授業の後半では、前半で行う訓練を発展させた authentic な教材・題材を用いた訓練を行う。速読の訓練では、U.S.A Today, CNN, BBC などの記事を用いて速読のスキルの訓練をする。英語音声学・応用言語学・言語学等の知見を取り入れ、ペアワークやインフォメーションギャップを用いたコミュニケーション活動を中心に行う。 <b>到達目標:</b> 授業を通して、種々の速読のスキル、リスニングストラテジー、英語によるコミュニケーション活動に慣れ、基礎的なコミュニケーション能力を身につけることを目標とする。			
<b>授業内容(概要) / 授業内容(毎週毎の授業内容を含む)</b>  第 1回 第 1回 オリエンテーション 第 2回 4月13日 英語のリズム(1), 速読(phrase reading)とペアワーク(1) 第 3回 4月20日 Voice Aerobics, 速読(phrase reading)とペアワーク(1) 第 4回 4月27日 リズムユニットの理解とシャドーイング(1), 速読(phrase reading) 第 5回 5月11日 リズムユニットの理解とシャドーイング(2), 速読(phrase reading) 第 6回 5月18日 弱く発音される音, 速読(phrase reading) 第 7回 5月25日 インフォメーションギャップによるペアワーク(1), 映画による聞き取り(1) 第 8回 6月1日 聞こえなくなる音, 映画による聞き取り(2) 第 9回 6月8日 インフォメーションギャップによるペアワーク(2), 映画による聞き取り(3) 第 10回 6月15日 グループによるディスカッション(1), 映画による聞き取り(4) 第 11回 6月22日 ひとつになる音, インフォメーションギャップによるペアワーク(3), 速読(phrase reading) 第 12回 6月29日 つながる音, 映画による聞き取り(5), 速読(phrase reading) 第 13回 7月6日 なくなる音, 速読(phrase reading), 映画による聞き取り(6) 第 14回 7月13日 英語の音のその他の特徴(prosodic features を中心として), グループによるディスカッション(2) 第 15回 7月20日 Review			
キーワード	速読、Plain English、リズムユニット、音変化		
教科書・教材・参考書	プリント教材、及び聞き取り訓練テキスト		
成績評価の方法・基準等	まとめテスト(30%)、小テスト(60%)、積極的な授業への参加(10%)等を総合的に判断する。小テストは毎回行う。		
受講要件(履修条件)	新たに学習する内容は、きちんと復習すること！		
本科目の位置づけ/学習・教育目標	高校までの英語学習の弱点を補うとともに、大学レベルの英語学習に必要なスキルの獲得を目指す。英語コミュニケーションの基礎的能力を身につけると同時に、日本人学習者の弱点を克服する。		
備考(準備学習等)	Plain English のプリント教材を復習し、小テストに備えること。		

2010年度 前期	曜日・校時 火2	必修選択 必	単位数 1
授業コード 20100590009006 授業科目/(英語名)	●総合英語 I (P19) Comprehensive English I		
対象年次 1年	講義形態 演習科目	教室 [全] 1 2 4	
対象学生(クラス等) P19	科目分類 外国語科目		
担当教員(科目責任者) / Eメールアドレス/研究室/TEL/オフィシアワー 小笠原 真司 / ogasa-s@nagasaki-u.ac.jp / 環境科学部 1階 / 095-819-2094 / 水 2 木 3 金 5			
担当教員	小笠原 真司		
<b>授業のねらい/授業方法(学習指導法)/授業到達目標</b> <b>ねらい:</b> このクラスは、幕末の長崎における医学・薬学・工学に関する近代化の歴史を学びながら、リーディング力および専門に関する英単語を含めた語彙力の養成を行います。また、リスニングや音読の訓練も行い、音声面での強化も行います。 <b>授業方法(学習指導法):</b> 演習形式で行います。指定されたテキストは、その場で読んでもらい大意を取る練習をするとともに、細かな部分は家庭で精読してもらいます。指定された範囲をきちんと読んで、予習してくることも大切です。また授業中に配布するプリント教材を用いて、リスニングの練習や専門語彙修得を図ります。 <b>到達目標:</b> テキストの英文を辞書なしでも大意がとれるようにします。語彙レベルでは、テキストで指定された Key Word 約 200 語およびテキスト中の Words and Phrases 約 300 語の計 500 語を確実に意味がわかるようにします。また、テキスト中に指定してある Key Sentence として、約 60 の構文が書けるようにします。同時に CD を使い、その構文が言えるようにします。			
<b>授業内容(概要)/授業内容(毎週毎の授業内容を含む)</b> 授業の最初には、英語構文や英単語の小テストを行います。これは、テキストからテスト範囲を毎回指定しますから、家庭で必ずテキストについている CD を使いながら学習してきてください。成績の 20% は、この小テストにて評価されます。その後、リーディングの練習をします。学生は指示された範囲や内容を必ず予習して授業に参加してください。ここでは、音読の練習も行います。英語のリズムや音から英語を学ぶことも大切です。また、このテキストを用いて、時間を制限して読んでもらい、大意をつかみ、必要な情報を読み取る練習をします。この教材は、家庭でさらに精読してきてもらいます。次の授業において、その精読の確認を行います。 またプリント教材を用いて、リスニングの練習や語彙の強化の練習をします。 英語の力を維持し、さらに向上させるためには、大学での授業に加えて家庭での学習が必要となります。英語が苦手な学生もいると思いますが、担当者から指示された家庭学習や予習を行えば、必ず英語の力は向上します。がんばってください。 第 1 回 オリエンテーション Unit 1. Dr. Broek as a Teacher of Western Technology (1) 第 2 回 Unit 2. Dr. Broek as a Teacher of Western Technology (2) 第 3 回 Unit 3. Pompe: Founder of the First Medical School in Japan (1) 第 4 回 Unit 4. Pompe: Founder of the First Medical School in Japan (2) 第 5 回 Unit 5. The Dutch Navy and the Transfer of Technology to Japan (1) 第 6 回 Unit 6. The Dutch Navy and the Transfer of Technology to Japan (2) 第 7 回 Unit 7. The Dutch Navy and the Transfer of Technology to Japan (3) 第 8 回 Unit 8. The Dutch Navy and the Transfer of Technology to Japan (4) 第 9 回 Unit 9. The Introduction of Western-Style Chemistry and Pharmacy 第 10 回 Unit 10. The Dutch Steamship Company and its Dealings with Japan (1) 第 11 回 Unit 11. The Dutch Steamship Company and its Dealings with Japan (2) 第 12 回 Unit 12. The Dutch Steamship Company and its Dealings with Japan (3) 第 13 回 Unit 13. Steam Factory Nagasaki 1856 第 14 回 Unit 14. Growth 1861-1865 第 15 回 Unit 15. Further Reading Medicine around 1850 - an Overview 必修語彙 500 および基本構文 60 の確認 第 16 回 定期試験 (2010 年 8 月 3 日)			
キーワード	スキミング、スキヤニング、キーワードリーディング、フレーズリーディング、リピーティング		
教科書・教材・参考書	教科書(テキスト): Pioneers of Western-Style Medical Education and Modern Technology in Japan (EIKO-SHA) (CD 付) 1,900 円(第 1 回目の授業時に教室にて販売します) 教材: プリント教材 毎回配布します。		
成績評価の方法・基準等	成績評価は、 ○定期試験 70%、毎回の小テスト 20%、授業中の発表 10%で行います。		
受講要件(履修条件)	全回出席が原則。教科書も必ず購入すること。		
本科目の位置づけ/学習・教育目標			
備考(準備学習等)			



2010年度 前期	曜日・校時 火2	必修選択 必	単位数 1
授業コード 20100590009005 授業科目/(英語名)	●総合英語 I (Lc) Comprehensive English I		
対象年次 1年	講義形態 演習科目	教室 [全] 204	
対象学生(クラス等) Lc	科目分類 外国語科目		
担当教員(科目責任者) / Eメールアドレス/研究室/TEL/オフィスアワー 稲毛 逸郎 / inage@nagasaki-u.ac.jp / 教育学部 6F 618 研究室 / 095-819-2093 / 水曜日 16:10~17:40			
担当教員	稲毛 逸郎		
<b>授業のねらい/授業方法(学習指導法)/授業到達目標</b> <b>ねらい:</b> 高等学校までの英語学習をふまえて、英語の読む・書く・聞く・話すの4技能の能力をさらに伸ばし、総合的な英語運用能力を育成することをねらいとする。 <b>授業方法(学習指導法):</b> 英語の会話文の聞き取り練習を基に、書く・話す練習を行い、また、リーディング用教材を用いて、要点を押さえながらできる限り速く読み進める訓練を行う。 <b>到達目標:</b> 英語の4技能の訓練を通して、英検準1級程度の試験に合格できる総合的英語力の育成を目標とする。			
<b>授業内容(概要) / 授業内容(毎週毎の授業内容を含む)</b> 第1回 受講にあたっての諸注意、授業内容についての導入 Unit 1 Formal Letter Writing: A Dying Art Scanningg のスキルについて 第2回 Unit 2 U.S. Teens: Reading is Interesting Using Titles to Understand Main Ideas (Gist) 第3回 Unit 3 How Old Is Old Enough Skimming for the Main Idea 第4回 Unit 4 The History of Hollywood Recognizing Sequence of Events 第5回 Unit 5 Numbers and Beliefs Identifying Main Ideas within Paragraphs (1) 第6回 Unit 6 The History of Chocolate Predicting のスキル 第7回 Unit 7 Breakfast Like a King Inferring のスキル 第8回 Unit 8 Oh, No --- Not Another Test! Identifying Main and Supporting Ideas 第9回 Unit 9 FAQs about Recycling Understanding Main Ideas (Gist) 第10回 Unit 10 Time for Work, Time for Play Identifying Main Ideas withing Paragraphs (2) 第11回 Unit 11 Netiquette --- Internet Dos and Don'ts Developing Reading Fluency (1) 第12回 Unit 12 Have You Read Any Good Books Lately? Developing Reading Fluency (2) 第13回 Unit 13 Life Expectations Developing Reading Fluency (3) 第14回 Unit 14 The Oscar Goes to ... Willie Fulgear! Developing Reading Fluenvy (4) 第15回 授業のまとめ 第16回目 定期試験			
キーワード	英語の4技能、総合的訓練		
教科書・教材・参考書	Intermediate Skills for Reading 成美堂		
成績評価の方法・基準等	期末試験(70%)、毎回実施の小テスト(10%)、授業での活動に対する積極的な取り組み状況(10%)を基準に評価する。		
受講要件(履修条件)			
本科目の位置づけ /学習・教育目標	既習外国語		
備考(準備学習等)			

2010年度 前期	曜日・校時 火3	必修選択 必	単位数 1
授業コード 20100590009009 授業科目/(英語名)	●総合英語 I (Fb) Comprehensive English I		
対象年次 1年	講義形態 演習科目	教室 [全] 401	
対象学生(クラス等) Fb	科目分類 外国語科目		
担当教員(科目責任者) / Eメールアドレス/研究室/TEL/オフィシアワー 大坪 有実 / r_otsubo@hotmail.co.jp / 非常勤講師控室 / / 火曜日 12:00~12:50 非常勤講師控室			
担当教員	大坪 有実		
<b>授業のねらい/授業方法(学習指導法)/授業到達目標</b> <b>ねらい:</b> 英語の4技能 読む・書く・聞く・話すのうち読む・書くことに重点を置き、世界の環境、健康問題についての英文を通し、どのような問題が起こっており、また、この問題にどのように取り組んでいくべきか自分の考えを述べることを狙いとする。 <b>授業方法(学習指導法):</b> 主として講義によるが、グループ・ワークを一部に組み入れる。 <b>到達目標:</b> ・タイトル、サブタイトル、写真、イラストから本文の内容が予測できる。 ・スキミングとスキヤニングの違いを理解し、対応できる。 ・各Unitで取り上げられている問題を理解し、自分の考えが述べられる。			
<b>授業内容(概要) / 授業内容(毎週毎の授業内容を含む)</b> 全体は大きく分けて3部構成となっています。 まずはスキミング・スキヤニングによる英文読解。 次に既習文法を再確認しながらの英文精読。 そして、既習文法の応用問題を解いていきます。 第1回 4月13日 教科書販売 ・ Introduction 第2回 4月20日 Scientists Zap Coral Reefs with Electricity to Save Them 第3回 4月27日 "Humble" Potato Emerging as World's Next Food Source 第4回 5月11日 Offices Use Ice to Cool Down and Save Power 第5回 5月18日 Study: Exercise in Middle Age Cuts Risk of Alzheimer's 第6回 5月25日 Egyptians Look to Desert for Hot Residential Property 第7回 6月1日 College Students Feel Better after Screaming Together 第8回 6月8日 Indian Dam Drowns Valley, Angering Farmers 第9回 6月15日 Smoking Bans Could Cut into Cuban Cigar Sales 第10回 6月22日 Global Warming Claiming Next Victim: Andes Water 第11回 6月29日 Aborigines Still Rely on Bush Medicines for Remedies 第12回 7月6日 African Farmers Seek Ways to Survive Droughts 第13回 7月13日 Study: Fruity Cocktails May Be Good for Health 第14回 7月20日 Rising Seas May Force Island Nations to Evacuate 第15回 7月27日 Malaysians Getting Appetite for Healthier Eating 第16回 8月3日 定期試験			
キーワード			
教科書・教材・参考書	Healing Our World Today's Health and Environment News 南雲堂 ¥1,890		
成績評価の方法・基準等	定期試験 60点 授業中の課題に対する積極的な取組状況 10点 小テスト及び出席状況 30点		
受講要件(履修条件)	辞書を持参すること。 予習をして授業に参加すること。		
本科目の位置づけ/学習・教育目標			
備考(準備学習等)			

2010年度 前期	曜日・校時 水1	必修選択 必	単位数 1
授業コード 20100590009012 授業科目/(英語名)	●総合英語 I (Kd) Comprehensive English I		
対象年次 1年	講義形態 演習科目	教室 [全] 402	
対象学生(クラス等) Kd	科目分類 外国語科目		
担当教員(科目責任者) / Eメールアドレス/研究室/TEL/オフィスアワー 中村 吏花 / arthur410@hotmail.co.jp / 非常勤講師室 / / 水曜昼休み			
担当教員	中村 吏花		
<b>授業のねらい/授業方法(学習指導法)/授業到達目標</b> <b>ねらい:</b> 英語の4技能を総合的に向上させる。フレーズリーディングの訓練をする。 コミュニケーションだけでなく、TOEICやTOEFLなどにも役立つ基本的な文法を身に付ける。 新出語句や表現を習得する。リスニング・リーディング練習をバランスよく行い、英語の音声・英文の構造に慣れる。 速読・精読を意識して行う。 <b>授業方法(学習指導法):</b> 必ず予習をして授業に出席すること。問題の解答だけでなく、英文解釈や英文音読なども毎回無作為に指名して発表してもらう。 テキスト付属のCDを活用して英語の音の特徴を確認するとともに、ディクテーションや音読など英語を読み・聞く訓練をする。 授業中にそれぞれの問題のポイントと、内容を理解する。重要文法事項を解説する。 <b>到達目標:</b> 基本的な文法・構文・表現方法を習得し、英語を正しく理解することが出来る。 英語の4技能を総合的に向上させる。			
<b>授業内容(概要)/授業内容(毎週毎の授業内容を含む)</b> 始めに速読、それから精読を意識して、本文の内容を確認する。語句・表現・文法の解説をする。英語の音の特徴・リズムを知り、英文の構造に慣れるため、CDを活用してディクテーションや音読など英語を聞き・読む訓練をする。英語の語順を意識して、長文を読む。 授業には必ず予習をして臨み、辞書を持参してください。(電子辞書可。携帯電話は使用不可)。内容がよくつかめないときは、何がわからないのかを明らかにさせてきてください。文の構造がどうなっているのか、その文脈ではどういう意味でその単語が使われているのか、代名詞が何を指しているのか、など細かく確認していくと、わからないところがはっきりすると思います。 *教室に座っていれば出席というものではありません。予習をして授業に臨み(予習が十分にできていない場合は出席とはみなしません)、他の人の発表に耳を傾け、疑問があれば質問し、積極的に授業に取り組んで初めて出席とみなします。授業開始時刻から30分までは遅刻を認めます。それより遅い入室は欠席扱いとします。 第1回 2010/4/14 Introduction 第2回 2010/4/21 Scientists Zap Coral Reefs with Electricity to Save Them 第3回 2010/4/28 "Humble" Potato Emerging as World's Next Food Source 第4回 2010/5/12 Offices Use Ice to Cool Down and Save Power 第5回 2010/5/19 Study: Exercise in Middle Age Cuts Risk of Alzheimer's 第6回 2010/5/26 Review 第7回 2010/6/2 Egyptians Look to Desert for Hot Residential Property 第8回 2010/6/9 Colleges Students Feel Better after Screaming Together 第9回 2010/6/16 Indian Dam Drowns Valley, Angering Farmers 第10回 2010/6/23 Smoking Bans Could Cut into Cuban Cigar Sales 第11回 2010/6/30 Review 第12回 2010/7/7 Global Warming Claiming Next Victim: Andes Water 第13回 2010/7/14 Aborigines Still Rely on Bush Medicines for Remedies 第14回 2010/7/21 African Farmers Seek Ways to Survive Droughts 第15回 2010/7/28 Review 第16回 2010/8/4 定期試験			
キーワード			
教科書・教材・参考書	Pino Cutrone 『Healing Our World』(南雲堂、2010年) 1890円		
成績評価の方法・基準等	定期試験 55%、課題 15%、音読 10%、積極的な授業への参加状況 20%(出席点はありません) *一度も本文の内容説明をしなかった人は「積極的な授業への参加状況」の配点が0点となります。		
受講要件(履修条件)	3分の1以上の欠席で受験資格を失います。(入院・出席停止の伝染病等を除き、病欠も欠席扱いとします)。正当な理由で欠席する場合は、その証明となる書類を提出してください(コピー可)。		
本科目の位置づけ/学習・教育目標			
備考(準備学習等)			

2010年度 前期	曜日・校時 水1	必修選択 必	単位数 1
授業コード 20100590009011 授業科目/(英語名)	●総合英語 I (Le) Comprehensive English I		
対象年次 1年	講義形態 演習科目	教室 [全] 1 2 5	
対象学生(クラス等) Le	科目分類 外国語科目		
担当教員(科目責任者) / Eメールアドレス/研究室/TEL/オフィシアワー 西原 俊明 / t-nishi@nagasaki-u.ac.jp / /095-819-2095/ 火曜日 12:50~13:30 他は、only by appointment			
担当教員	西原 俊明		
授業のねらい/授業方法(学習指導法)/授業到達目標			
<p><b>ねらい:</b> 基礎的な英語運用能力を高めることを授業のねらいとする。特に、音声言語によるコミュニケーション能力向上を目指す。また、既習の語彙を用いた表現力の幅をひろげるため、Plain English に関する講義を併せて行い、表現力向上を目指す。</p> <p><b>授業方法(学習指導法):</b> 授業の前半では、日本人学習者が抱えるリスニング上の問題点を理解する訓練、速読の訓練、表現力を養う Plain English による表現練習を行う。授業の後半では、前半で行う訓練を発展させた authentic な教材・題材を用いた訓練を行う。速読の訓練では、U.S.A Today, CNN, BBC などの記事を用いて速読のスキルの訓練をする。英語音声学・応用言語学・言語学等の知見を取り入れ、ペアワークやインフォメーションギャップを用いたコミュニケーション活動を中心に行う。</p> <p><b>到達目標:</b> 授業を通して、種々の速読のスキル、リスニングストラテジー、英語によるコミュニケーション活動に慣れ、基礎的なコミュニケーション能力を身につけることを目標とする。</p>			
授業内容(概要) / 授業内容(毎週毎の授業内容を含む)			
<p>第1回 新入生オリエンテーション</p> <p>第2回 4月14日 英語のリズム(1), 速読(phrase reading)とペアワーク(1)</p> <p>第3回 4月21日 Voice Aerobics, 速読(phrase reading)とペアワーク(1)</p> <p>第4回 4月28日 リズムユニットの理解とシャドーイング(1), 速読(phrase reading)</p> <p>第5回 5月12日 リズムユニットの理解とシャドーイング(2), 速読(phrase reading)</p> <p>第6回 5月19日 弱く発音される音, 速読(phrase reading), 映画による聞き取り(1)</p> <p>第7回 5月26日 インフォメーションギャップによるペアワーク(1), 映画による聞き取り(2)</p> <p>第8回 6月2日 聞こえなくなる音, 速読(phrase reading), 映画による聞き取り(3)</p> <p>第9回 6月9日 インフォメーションギャップによるペアワーク(2), 映画による聞き取り(4)</p> <p>第10回 6月16日 グループによるディスカッション(1), 映画による聞き取り(5)</p> <p>第11回 6月23日 ひとつになる音, インフォメーションギャップによるペアワーク(3), 速読(phrase reading)</p> <p>第12回 6月30日 つながる音, 映画による聞き取り(6), 速読(phrase reading)</p> <p>第13回 7月7日 なくなる音 速読(phrase reading)</p> <p>第14回 7月14日 英語の音のその他の特徴(prosodic features を中心として), グループによるディスカッション(2)</p> <p>第15回 7月21日 Review</p>			
キーワード	速読、Plain English、リズムユニット、音変化		
教科書・教材・参考書	プリント教材、及び聞き取り訓練テキスト		
成績評価の方法・基準等	まとめテスト(30%)、小テスト(60%)、積極的な授業への参加(10%)等を総合的に判断する。小テストは毎回行う。		
受講要件(履修条件)	新たに学習する内容は、きちんと復習すること！		
本科目の位置づけ/学習・教育目標	高校までの英語学習の弱点を補うとともに、大学レベルの英語学習に必要なスキルの獲得を目指す。英語コミュニケーションの基礎的能力を身につけると同時に、日本人学習者の弱点を克服する。		
備考(準備学習等)	Plain English のプリント教材を復習し、小テストに備えること。		

2010年度 前期	曜日・校時 水1	必修選択 必	単位数 1
授業コード 20100590009010 授業科目/(英語名)	●総合英語 I (Kc) Comprehensive English I		
対象年次 1年	講義形態 演習科目	教室 [全] 203	
対象学生(クラス等) Kc 1年生	科目分類 外国語科目		
担当教員(科目責任者) / Eメールアドレス/研究室/TEL/オフィスアワー 松元 浩一 / kmat@nagasaki-u.ac.jp / 教育学部本館 617号室 / / 水曜日 12:00~12:50			
担当教員	松元 浩一		
授業のねらい/授業方法(学習指導法)/授業到達目標			
<p>ねらい:(1) TOEIC, TOEFL等の読解テストにも役立つように英文を正確に(精読)、早く(速読)読み解くようになる。  (2) 英文中の語句や表現を習得し、英語による表現(英会話・英作文)に応用できる力を身につける。</p> <p>授業方法(学習指導法):(1) 演習形式をとる。受講者全員があらかじめ指定された箇所の語句や表現の意味を調べ、英文の内容を発表できるように予習する。授業では、こちらがランダムに指名するので、担当者が予習したことを発表する。</p> <p>(2) 着実に読解力をつけるために、確認テストを2~3回行う。  (3) おりにふれてリスニングの訓練も行う(ただし本コースの主たる目的は読解力の養成である)。</p> <p>到達目標:TOEICの読解力問題で70~80%くらいの正解が得られるような力を身につける。</p>			
授業内容(概要)/授業内容(毎週毎の授業内容を含む)			
<p>◆ 現代イギリス英語の洗練された散文を教材として、読解、聴解の訓練を行う。授業のねらい、授業方法は、上記各欄を参照のこと。受講者全員が指定された箇所をかならず予習して授業に臨むこと。</p> <p>第1回 授業の進め方、評価の説明、教科書の説明、単元 Kazuo Ishiguro, A Family Supper, pp. 1-2.  第2回 Kazuo ishiguro, pp. 3-7.  第3回 Kazuo Ishiguro, pp. 8-12.  第4回 kazuo Ishiguro, pp. 13-15.</p> <p>第5回 確認テスト(1)とその解説  教科書を用いたリスニングの訓練(1)  第6回 Graham Greene, The Japanese Invisible Gentleman, pp. 17-21.  第7回 Graham, greene, pp. 22-23.  第8回 Muriel Spark, The House of the Famous Poet, pp. 25-29.  第9回 Muriel Spark, pp. 30-34.  第10回 確認テスト(2)とその解説  教科書を用いたリスニングの訓練(2)  第11回 Muriel Spark, pp. 35-38.  第12回 Graham Swift, Seraglio, pp. 63-67.  第13回 Graham Swift, pp. 68-72.  第14回 raham Swift, pp. 73-77.  第15回 確認テスト(3)とその解説  教科書を用いたリスニング訓練(3)</p>			
キーワード	読解力		
教科書・教材・参考書	Teruya Yoshio (ed.) Past, Dream and Reality. Nan'un-do.		
成績評価の方法・基準等	(1) 授業時の発表50% (2) 確認テスト(1)~(3)の成績50% (3) 学生便覧にあるとおり、授業総回数の3分の1以上欠席した学生は受験資格を認めない。		
受講要件(履修条件)	学生便覧を参照。		
本科目の位置づけ/学習・教育目標	学生便覧を参照。 上記「授業のねらい」のとおり。		
備考(準備学習等)	授業時には英和辞書・英英辞書を持参すること。		



2010年度 前期	曜日・校時 水2	必修選択 必	単位数 1
授業コード 20100590009017 授業科目/(英語名)	●総合英語 I (Eh) Comprehensive English I		
対象年次 1年	講義形態 演習科目	教室 [全] 1 2 4	
対象学生(クラス等) Eh	科目分類 外国語科目		
担当教員(科目責任者) / Eメールアドレス/研究室/TEL/オフィスアワー 藤本 ゆかり / / 非常勤講師室 / 095-819-2078 (全学教育事務室) / 水曜日 12時より			
担当教員	藤本 ゆかり		
<b>授業のねらい/授業方法(学習指導法)/授業到達目標</b> <b>ねらい:</b> 経済について書かれた興味深い英文を学ぶことにより、学習意欲を高め、英語の総合的な能力を伸ばし、リーディングスキルとリスニングの能力を身に付ける。英語の長文を正確に理解して、速く読めるようになる。また、経済学について、さらなる興味と関心を深める。経済的な観点から人間の社会活動について考察し、自らの考えを持つようになる。 <b>授業方法(学習指導法):</b> 予習を充分に行ってきた上で、英文を読み、理解度を確認し、読解の方法を指導する。語句や構文、文法事項に重点を置きながら、内容の正確な把握ができるようになる。テキストの練習問題により、説明と指導をしながら、語彙と文法事項の定着を図り、リスニングの能力を養う。資料等により、様々な経済問題を考える。 <b>到達目標:</b> 経済と価値感の視点から、人間の行動を決定づける経済のシステムについて書かれた英文を読み、その内容の意味を正確に理解でき、英語力全般を伸ばす。様々な経済問題、及び専門である経済学に関心を持つ。また、それらについて考察し、自分の考えを持つようになり、将来の研究に備える。語句や文法事項の基礎的な力を確認し、さらにリーディングとリスニングの応用力を伸ばすことができる。読解力を高め、英語で書かれた、経済に関する長文を読めるようになる。			
<b>授業内容(概要) / 授業内容(毎週毎の授業内容を含む)</b> 十分な予習を前提とした上で、テキストの英文の精読や速読を行い、正確な理解を図るべく、文章の内容を確認していきながら、語句や文法事項、及び、英文読解の方法や技術を指導します。英文の内容の理解が出来ていることを示すために、毎回発表をしてもらいます。その中で、経済学の専門的な知識を説明することにします。英文の読解力を高めることと、専門的な経済学の専門的な英語を習得することを、目標とします。本文の内容理解を確認するための練習問題を解き、その中で語彙や文法事項、またリスニングの指導と解説をします。さらに、様々な経済問題について、英文や資料を示しますので、それらについての考察を行います。 これからの時代は、グローバル化のため、経済界やビジネスにおいて、英語がますます必要となります。英語の学習にさらに力を入れ、TOEICテスト等も視野に入れて勉強しましょう。 また、日頃から、新聞等においても、経済記事やニュース、世の中の動きに注目するようにして下さい。			
第1回 4月14日 導入・授業内容の説明 第2回 4月21日 Ch. 1 Economics and Human Nature 第3回 4月28日 Ch. 3 Tipping 第4回 5月12日 Ch. 4 Coffee 第5回 5月19日 Ch. 5 Convenience Stores 第6回 5月26日 Ch. 6 Luxury Products 第7回 6月 2日 Ch. 7 Women and Men's Prices 第8回 6月 9日 Ch. 8 Cheap Cigarettes and Used Cars in Japan 第9回 6月16日 Ch. 9 Christmas Music and the Peacock's Tail 第10回 6月23日 Ch. 10 Mineral Water 第11回 6月30日 Ch. 11 Nothing Is for Free 第12回 7月 7日 Ch. 12 Location Matters 第13回 7月14日 Ch. 13 Unexpected Answers 第14回 7月21日 Ch. 14 Cheating 第15回 7月28日 Ch. 15 Randomness and Perseverance 第16回 8月4日 定期試験			
キーワード	リーディングスキル / 経済学の初歩		
教科書・教材・参考書	Econosense: Economics and Human Nature (Paul Stapleton: センゲージラーニング) 英和辞典(電子辞書)を必携すること。資料を配布します。		
成績評価の方法・基準等	定期試験を筆記で行います。主に定期試験により評価をします。それに授業中の活動を加えます。定期試験90%、授業中の発表や活動10%を基準とします。また、受講中の態度を非常に重視します。		
受講要件(履修条件)	授業には、前回出席することを期待します。授業には、必ず予習をして臨みましょう。		
本科目の位置づけ/学習・教育目標	大学入学にあたり、英語力の基礎を確認し、さらに発展させていく。 英語のリーディングスキルを養い、定着を図る。経済活動を考察し、自らの人生に役立てる。		
備考(準備学習等)	授業には、必ず予習をして臨んで下さい。予め英単語の意味を調べ、文章の大意を掴み、テキストの問題を解いておきます。		

2010年度 前期	曜日・校時 水2	必修選択 必	単位数 1
授業コード 20100590009016 授業科目/(英語名)	●総合英語 I (Ef) Comprehensive English I		
対象年次 1年	講義形態 演習科目	教室 [全] 402	
対象学生(クラス等) Ef	科目分類 外国語科目		
担当教員(科目責任者) / Eメールアドレス/研究室/TEL/オフィスアワー 中村 吏花 / arthur410@hotmail.co.jp / 非常勤講師室 / / 水曜昼休み			
担当教員	中村 吏花		
<b>授業のねらい/授業方法(学習指導法)/授業到達目標</b> <b>ねらい:</b> 英語の4技能を総合的に向上させる。フレーズリーディングの訓練をする。 コミュニケーションだけでなく、TOEICやTOEFLなどにも役立つ基本的な文法を身に付ける。 新出語句や表現を習得する。リスニング・リーディング練習をバランスよく行い、英語の音声・英文の構造に慣れる。速読・精読を意識して行う。 <b>授業方法(学習指導法):</b> 必ず予習をして授業に出席すること。問題の解答だけでなく、英文解釈や英文音読なども毎回無作為に指名して発表してもらう。 テキスト付属のCDを活用して英語の音の特徴を確認するとともに、ディクテーションや音読など英語を読み・聞く訓練をする。 授業中にそれぞれの問題のポイントと、内容を理解する。重要文法事項を解説する。 <b>到達目標:</b> 自分が必要とする情報を正しく適切に読み取る事ができる。 基本的な文法・構文・表現方法を習得し、英語を正しく理解する事ができる。			
<b>授業内容(概要)/授業内容(毎週毎の授業内容を含む)</b> 始めに速読、それから精読を意識して、本文の内容を確認する。語句・表現・文法の解説をする。英語の音の特徴・リズムを知り、英文の構造に慣れるため、CDを活用してディクテーションや音読など英語を聞き・読む訓練をする。英語の語順を意識して、長文を読む。 授業には必ず予習をして臨み、辞書を持参してください。(電子辞書可。携帯電話は使用不可)。内容がよくつかめないときは、何がわからないのかを明らかにさせてきてください。文の構造がどうなっているのか、その文脈ではどういう意味でその単語が使われているのか、代名詞が何を指しているのか、など細かく確認していくと、わからないところがはっきりすると思います。 *教室に座っていれば出席というものではありません。予習をして授業に臨み(予習が十分にできていない場合は出席とはみなしません)、他の人の発表に耳を傾け、疑問があれば質問し、積極的に授業に取り組んで初めて出席とみなします。授業開始時刻から30分までは遅刻を認めます。それより遅い入室は欠席扱いとします。 第1回 2010/4/14 Introduction 第2回 2010/4/21 English Rakugo 第3回 2010/4/28 Silent CEOs 第4回 2010/5/12 Cappadocia 第5回 2010/5/19 Review 第6回 2010/5/26 Eco-cars 第7回 2010/6/2 Finance for Kids 第8回 2010/6/9 Jazz 第9回 2010/6/16 Review 第10回 2010/6/23 Britain's National Trust 第11回 2010/6/30 How Fast can Human Run? 第12回 2010/7/7 Pitfalls of Statistics 第13回 2010/7/14 Hot Springs 第14回 2010/7/21 Hot Springs 第15回 2010/7/28 Review 第16回 2010/8/4 定期試験			
<b>キーワード</b>			
教科書・教材・参考書	土屋武久『パラグラフで読むリーディングスキル演習』(成美堂、2010年)1890円 *必ずテキスト本体を入手して出席してください。テキストのない人の受講を認めません。		
成績評価の方法・基準等	定期試験 65%、課題 15%、積極的な授業への参加状況 20%(出席点はありません) *一度も本文の内容説明をしなかった人は「積極的な授業への参加状況」の配点が0点となります。		
受講要件(履修条件)	3分の2以上の出席がなければ受験資格を失います。(入院・出席停止の伝染病等を除き、病欠も欠席扱いとします)。正当な理由で欠席する場合は、その証明となる書類を提出してください(コピー可)。		
本科目の位置づけ/学習・教育目標			
備考(準備学習等)			

2010年度前期	曜日・校時 水2	必修選択 必	単位数 1
授業コード 20100590009015 授業科目/(英語名)	●総合英語 I (Eg) Comprehensive English I		
対象年次 1年	講義形態 演習科目	教室 [全] 303	
対象学生(クラス等) 総合英語 I Eg	科目分類 外国語科目		
担当教員(科目責任者) / Eメールアドレス/研究室/TEL/オフィスアワー 古場 なおみ / kobaknke@yahoo.co.jp / 非常勤講師室 / / 非常勤講師室にて授業の前後			
担当教員	古場 なおみ		
授業のねらい/授業方法(学習指導法)/授業到達目標 ねらい: (1) 世界からの身近なトピックを題材にした教材を用い、生きた英語に触れ、また、語彙、リスニング、読解、スピーキング等のエクササイズによって総合的な英語力の向上をはかる。(2) 英字新聞の英語に慣れ親しむ。  授業方法(学習指導法): 講義形式でテキストを進める。  到達目標: 国際的なコミュニケーションの道具としての英語力を身につける。			
授業内容(概要) / 授業内容(毎週毎の授業内容を含む)  第1回 4月7日 新入生オリエンテーション 第2回 4月14日 自己紹介、授業の進め方、評価等の説明 第3回 4月21日 English through the News Media Unit 1 第4回 4月28日 English through the News Media Unit 1, 2 第5回 5月12日 English through the News Media Unit 2 第6回 5月19日 English through the News Media Unit 3 第7回 5月26日 English through the News Media Unit 3, 4 第8回 6月2日 English through the News Media Unit 4 第9回 6月9日 English through the News Media Unit 5 第10回 6月16日 English through the News Media Unit 6 第11回 6月23日 English through the News Media Unit 7 第12回 6月30日 English through the News Media Unit 8 第13回 7月7日 English through the News Media Unit 9 第14回 7月14日 English through the News Media Unit 10 第15回 7月21日 English through the News Media Unit 12 第16回目 8月4日 定期試験			
キーワード			
教科書・教材・参考書	The Half-edition of English through the News Media 2010 (Asahi Press)		
成績評価の方法・基準等	定期試験 70% 課題、出席、授業への積極的な取り組み 30%		
受講要件(履修条件)			
本科目の位置づけ/学習・教育目標			
備考(準備学習等)			

2010年度 前期	曜日・校時 水2	必修選択 必	単位数 1
授業コード 20100590009014 授業科目/(英語名)	●総合英語 I (Ee) Comprehensive English I		
対象年次 1年	講義形態 演習科目	教室 [全] 302	
対象学生(クラス等) Ee	科目分類 外国語科目		
担当教員(科目責任者) / Eメールアドレス/研究室/TEL/オフィスアワー 稲富 百合子 / inadomi@fukuoka-u.ac.jp / 非常勤講師室 / / 授業の前後、また、メールにて受け付けます。			
担当教員	稲富 百合子		
<b>授業のねらい/授業方法(学習指導法)/授業到達目標</b> <b>ねらい:</b> この授業では、日本人が共通してよく間違える英語の文法事項や同意語の使い分けなどをテーマとしたエッセイを読み進めながら、読解力を養うことを目指します。 <b>授業方法(学習指導法):</b> 授業の前半ではリーディングを中心に、後半では本文に出てきた構文やイディオムを参考にして、英作文やリスニングの問題を中心に進めていきます。各自、予習、復習をして授業に臨んでください。 <b>到達目標:</b> (1) 英語の文章構成の基礎知識について学び、速読のスキルを身につけ、英語の文章を効率的に、かつ正確に読み進めることができるようになる。 (2) 自然な速度で話される英語の音声変化の特徴を学び、話されている内容の理解力を向上させる。			
<b>授業内容(概要) / 授業内容(毎週毎の授業内容を含む)</b> 予習、復習を前提に行います。1回の授業につき1ユニット半～2ユニットを進めることを進度の目安にしてください。本文の内容について True / False 形式で確認します。各ユニットに収められているリスニングの練習問題や英作文の練習問題を通して、語句の使い方などを理解し、弱点を克服していきます。 第1回目の授業ではプリント教材を使用します。 第2回目から以下のようにテキストを進めていきます。第2回～第4回 Chapter 1: Using Japanese English Correctly 1. print 2. salaryman / OL 3. mansions 4. risutora 5. case by case 第5回～第7回 Chapter 2: Common Mistakes Japanese People Make 1. put on / wear / take off 2. in time / on time 3. made of / made by / made from 4. yes 5. expect / look forward to 第8回～第10回 Chapter 3: Essential Grammar Points 1. infinitives and gerunds 2. tag questions 3. passive voice 4. adjective order 5. countable / uncountable 第11回～第12回 Chapter 4: How Similar Words are Different 1. look / see / watch 2. common / popular 3. because / as / since 4. maybe / probably 5. wish / hope 第13回～第15回 Chapter 5: Colors and Their Images 1. red 2. blue 3. yellow 4. green 5. black and white 第1回 4月14日 教科書販売、オリエンテーション(授業の進め方について説明) 英語の文章構成について(プリント教材) 第2回 4月21日 Chapter 1: Using Japanese English Correctly (和製英語の正しい使い方) 第3回 4月28日 Chapter 1 つづき 第4回 5月12日 Chapter 1 つづき 第5回 5月19日 Chapter 2: Common Mistakes Japanese People Make (日本人がよくする間違い) 第6回 5月26日 Chapter 2 つづき 第7回 6月2日 Chapter 2 つづき 第8回 6月9日 Chapter 3: Essential Grammar Points (重要な文法項目) 第9回 6月16日 Chapter 3 つづき 第10回 6月23日 Chapter 3 つづき 第11回 6月30日 Chapter 4: How Similar Words are Different (似ている言葉の違う点) 第12回 7月7日 Chapter 4 つづき 第13回 7月14日 Chapter 5: Colors and Their Images (色が持つイメージ) 第14回 7月21日 Chapter 5 つづき 第15回 7月28日 まとめ 第16回 8月4日 定期試験			
<b>キーワード</b>			
教科書・教材・参考書	Odds & Ends -Essays on everyday conversation - (成美堂) 1,700円(税別) *授業には必ず辞書を持参して下さい。		
成績評価の方法・基準等	定期試験 60%、授業への積極的な取り組み状況(発表を含む)30%、小テスト 10%とし、総合的に評価します。		
受講要件(履修条件)			
本科目の位置づけ/学習・教育目標			
備考(準備学習等)			

2010年度 前期	曜日・校時 水2	必修選択 必	単位数 1
授業コード 20100590009013 授業科目/(英語名)	●総合英語 I (La) Comprehensive English I		
対象年次 1年	講義形態 演習科目	教室 [全] CALL1	
対象学生(クラス等) La	科目分類 外国語科目		
担当教員(科目責任者) / Eメールアドレス/研究室/TEL/オフィスアワー 西原 俊明 / t:nishi@nagasaki-u.ac.jp / /095-819-2095 / 火曜日 12:50~13:30 他は、only by appointment			
担当教員	西原 俊明		
授業のねらい/授業方法(学習指導法)/授業到達目標			
<p><b>ねらい:</b> 基礎的な英語運用能力を高めることを授業のねらいとする。特に、音声言語によるコミュニケーション能力向上を目指す。また、既習の語彙を用いた表現力の幅をひろげるため、Plain English に関する講義を併せて行い、表現力向上を目指す。</p> <p><b>授業方法(学習指導法):</b> 授業の前半では、日本人学習者が抱えるリスニング上の問題点を理解する訓練、速読の訓練、表現力を養う Plain English による表現練習を行う。授業の後半では、前半で行う訓練を発展させた authentic な教材・題材を用いた訓練を行う。速読の訓練では、U.S.A Today, CNN, BBC などの記事を用いて速読のスキルの訓練をする。英語音声学・応用言語学・言語学等の知見を取り入れ、ペアワークやインフォメーションギャップを用いたコミュニケーション活動を中心に行う。</p> <p><b>到達目標:</b> 授業を通して、種々の速読のスキル、リスニングストラテジー、英語によるコミュニケーション活動に慣れ、基礎的なコミュニケーション能力を身につけることを目標とする。</p>			
授業内容(概要) / 授業内容(毎週毎の授業内容を含む)			
<p>第1回 第1回 オリエンテーション</p> <p>第2回 4月14日 英語のリズム(1), 速読(phrase reading)とペアワーク(1)</p> <p>第3回 4月21日 Voice Aerobics, 速読(phrase reading)とペアワーク(1)</p> <p>第4回 4月28日 リズムユニットの理解とシャドーイング(1), 速読(phrase reading)</p> <p>第5回 5月12日 リズムユニットの理解とシャドーイング(2), 速読(phrase reading)</p> <p>第6回 5月19日 弱く発音される音, 速読(phrase reading)</p> <p>第7回 5月26日 インフォメーションギャップによるペアワーク(1), 映画による聞き取り(1)</p> <p>第8回 6月2日 聞こえなくなる音, 映画による聞き取り(2)</p> <p>第9回 6月9日 インフォメーションギャップによるペアワーク(2), 映画による聞き取り(3)</p> <p>第10回 6月16日 グループによるディスカッション(1), 映画による聞き取り(4)</p> <p>第11回 6月23日 ひとつになる音, インフォメーションギャップによるペアワーク(3), 速読(phrase reading)</p> <p>第12回 6月30日 つながる音, 映画による聞き取り(5), 速読(phrase reading)</p> <p>第13回 7月7日 なくなる音, 速読(phrase reading), 映画による聞き取り(6)</p> <p>第14回 7月14日 英語の音のその他の特徴(prosodic features を中心として), グループによるディスカッション(2)</p> <p>第15回 7月21日 Review</p>			
キーワード	速読、Plain English、リズムユニット、音変化		
教科書・教材・参考書	プリント教材、及び聞き取り訓練テキスト		
成績評価の方法・基準等	まとめテスト(30%)、小テスト(60%)、積極的な授業への参加(10%)等を総合的に判断する。小テストは毎回行う。		
受講要件(履修条件)	新たに学習する内容は、きちんと復習すること!		
本科目の位置づけ/学習・教育目標	高校までの英語学習の弱点を補うとともに、大学レベルの英語学習に必要なスキルの獲得を目指す。英語コミュニケーションの基礎的能力を身につけると同時に、日本人学習者の弱点を克服する。		
備考(準備学習等)	Plain English のプリント教材を復習し、小テストに備えること。		



2010年度 前期	曜日・校時 水3	必修選択 必	単位数 1
授業コード 20100590009021 授業科目/(英語名)	●総合英語 I (Ed) Comprehensive English I		
対象年次 1年	講義形態 演習科目	教室 [全] 401	
対象学生(クラス等) 総合英語 I Ed	科目分類 外国語科目		
担当教員(科目責任者) / Eメールアドレス/研究室/TEL/オフィスアワー 古場 なおみ / kobaknke@yahoo.co.jp / 非常勤講師室 / / 非常勤講師室にて授業の前後			
担当教員	古場 なおみ		
<b>授業のねらい/授業方法(学習指導法)/授業到達目標</b> <b>ねらい:</b> 世界からの身近なトピックを題材にした教材を用い。生きた英語に触れ、また語彙、リスニング、読解、スピーキングなどのエクササイズによって総合的な英語力の向上をはかる。  <b>授業方法(学習指導法):</b> 講義形式でテキストを進める。  <b>到達目標:</b> 国際的なコミュニケーションの道具としての英語力を身につける。			
<b>授業内容(概要) / 授業内容(毎週毎の授業内容を含む)</b>  第1回 4月7日 新入生オリエンテーション 第2回 4月14日 自己紹介、授業の進め方、評価等の説明 第3回 4月21日 Reading Pass 3 Unit 1 第4回 4月28日 Reading Pass 3 Unit 1 第5回 5月12日 Reading Pass 3 Unit 2 第6回 5月19日 Reading Pass 3 Unit 3 第7回 5月26日 Reading Pass 3 Unit 4 第8回 6月2日 Reading Pass 3 Unit 5 第9回 6月9日 Reading Pass 3 Unit 7 第10回 6月16日 Reading Pass 3 Unit 8 第11回 6月23日 Reading Pass 3 Unit 10 第12回 6月30日 Reading Pass 3 Unit 11 第13回 7月7日 Reading Pass 3 Unit 16 第14回 7月14日 Reading Pass 3 Unit 17 第15回 7月21日 進度調整および復習  16回目 8月4日 定期試験			
<b>キーワード</b>			
教科書・教材・参考書	Reading Pass 3 (Nan'un-do)		
成績評価の方法・基準等	定期試験 70% 課題、出席、授業への積極的な取り組み等 30%		
受講要件(履修条件)			
本科目の位置づけ/学習・教育目標			
備考(準備学習等)			

2010年度 前期	曜日・校時 水3	必修選択 必	単位数 1
授業コード 20100590009020 授業科目/(英語名)	●総合英語 I (Ea) Comprehensive English I		
対象年次 1年	講義形態 演習科目	教室 [全] 301	
対象学生(クラス等) Ea	科目分類 外国語科目		
担当教員(科目責任者) / Eメールアドレス/研究室/TEL/オフィスアワー 加島 巧 / kashima@tc.nagasaki-gaigo.ac.jp / 非常勤講師室 / / 授業終了後の教室			
担当教員	加島 巧		
授業のねらい/授業方法(学習指導法)/授業到達目標			
<p><b>ねらい:</b> 下記のテキスト使用し、読解、リスニング、英作文力を付けてゆきます。英語の総合力を伸ばすことを目標としますが、なかでも、正しく読むことを中心に授業を行います。</p> <p><b>授業方法(学習指導法):</b> 毎回決められた量のテキスト読み、問題を解いてゆきます。授業の最初には速読対策のプリントでモチベーションを高めます。</p> <p><b>到達目標:</b> 1回目のオリエンテーション後の2回目と15回目には同じレベルの英語能力判定テストを実施しますので、まず、自分の英語能力を判定し、半年後の伸びを図って見ます。</p>			
授業内容(概要) / 授業内容(毎週毎の授業内容を含む)			
第1回 4月12日オリエンテーション 第2回 4月19日英語能力判定テスト 第3回 4月26日 Douglas MacAthur (戦後の日本を方向づけた人物) 第4回 5月12日 Edwin Reischauer (もっとも愛された駐日大使) 第5回 5月19日 William Smith Clark (少年よ大志を抱け) 第6回 5月26日 Matthew Calbaith Perry (黒船、襲来!) 第7回 6月2日 Elvis Presley (世界中を熱狂させたロックンローラー) 第8回 6月9日 Yukichi Fukuzawa (天ハ人ノ上ニ人ヲ造ラズ) 第9回 6月16日 Donald Keene (日本文化を世界へ) 第10回 6月23日 Hayao Miyazaki (千と千尋の神隠し) 第11回 6月30日 Momofuku Ando (インスタントラーメン王) 第12回 7月7日 Umeko Tsuda (女子教育に捧げた人生) 第13回 7月14日 Steve Jobs (コンピュータと音楽プレーヤーの変革) 第14回 7月21日 Haruki Murakami (世界は『ノルウェイの森』を歩く) 第15回 7月28日英語能力判定テスト 16回目: 8月4日: 定期試験			
キーワード	日米の懸け橋		
教科書・教材・参考書	Across the Pacific Ocean (日米の架け橋になった人々) 成美堂 (最初の授業時に教室でテキストを販売します。テキスト代1890円を用意してください。) 必要に応じてプリントを配布します。		
成績評価の方法・基準等	授業への積極的参加 30% 小テスト 20% 定期試験 50%		
受講要件(履修条件)	授業には辞書を持参してください。電子辞書可。授業中の携帯電話の使用は禁止します。		
本科目の位置づけ/学習・教育目標			
備考(準備学習等)			

2010年度 前期	曜日・校時 水3	必修選択 必	単位数 1
授業コード 20100590009019 授業科目/(英語名)	●総合英語 I (Ec) Comprehensive English I		
対象年次 1年	講義形態 演習科目	教室 [全] 302	
対象学生(クラス等) Ec	科目分類 外国語科目		
担当教員(科目責任者) / Eメールアドレス/研究室/TEL/オフィスアワー 稲富 百合子 / inadomi@fukuoka-u.ac.jp / 非常勤講師室 / / 授業の前後、またはメールにて受け付けます。			
担当教員	稲富 百合子		
<b>授業のねらい/授業方法(学習指導法)/授業到達目標</b> <b>ねらい:</b> この授業では、日本人が共通してよく間違える英語の文法事項や同意語の使い分けなどをテーマとしたエッセイを読み進めながら、読解力を養うことを目指します。 <b>授業方法(学習指導法):</b> 授業の前半ではリーディングを中心に、後半では本文に出てきた構文やイディオムを参考にして、英作文やリスニングの問題を中心に進めていきます。各自、予習、復習をして授業に臨んでください。 <b>到達目標:</b> (1) 英語の文章構成の基礎知識について学び、速読のスキルを身につけ、英語の文章を効率的に、かつ正確に読み進めることができるようになる。 (2) 自然な速度で話される英語の音声変化の特徴を学び、話されている内容の理解力を向上させる。			
<b>授業内容(概要)/授業内容(毎週毎の授業内容を含む)</b> 予習、復習を前提に行います。1回の授業につき1ユニット半～2ユニット進めることを進度の目安にしてください。本文の内容について True / False 形式で確認します。各ユニットに収められているリスニングの練習問題や英作文の練習問題を通して、語句の使い方などを理解し、弱点を克服していきます。 第1回目の授業ではプリント教材を使用します。 第2回目から以下のようにテキストを進めていきます。 第2回～4回 Chapter 1: Using Japanese English Correctly 1. print 2. salaryman / OL 3. Mansions 4. risutora 5. case by case 第5回～7回 Chapter 2: Common Mistakes Japanese People Make 1. put on / wear / take off 2. in time / on time 3. made of / made by / made from 4. yes 5. expect / look forward to 第8回～10回 Chapter 3: Essential Grammar Points 1. infinitives and gerunds 2. tag questions 3. passive voice 4. adjective order 5. countable / uncountable 第11回～12回 Chapter 4: How Similar Words are Different 1. look / see / watch 2. common / popular 3. because / as / since 4. maybe / probably 5. wish / hope 第13回～15回 Chapter 5: Colors and Their Images 1. red 2. blue 3. yellow 4. green 5. black and white 第1回 4月14日教科書販売、オリエンテーション(授業の進め方について説明)英語の文章構成について(プリント教材) 第2回 4月21日 Chapter 1: Using Japanese English Correctly (和製英語の正しい使い方) 第3回 4月28日 Chapter 1 つづき 第4回 5月12日 Chapter 1 つづき 第5回 5月19日 Chapter 2: Common Mistakes Japanese People Make (日本人がよくする間違い) 第6回 5月26日 Chapter 2 つづき 第7回 6月2日 Chapter 2 つづき 第8回 6月9日 Chapter 3: Essential Grammar Points (重要な文法項目) 第9回 6月16日 Chapter 3 つづき 第10回 6月23日 Chapter 3 つづき 第11回 6月30日 Chapter 4: How Similar Words are Different (似ている言葉の違う点) 第12回 7月7日 Chapter 4 つづき 第13回 7月14日 Chapter 5: Colors and Their Images (色が持つイメージ) 第14回 7月21日 Chapter 5 つづき 第15回 7月28日 まとめ 第16回 8月4日 定期試験			
キーワード			
教科書・教材・参考書	Odds & Ends -Essays on everyday conversaytion・ (成美堂) 1,700円(税別) *授業には必ず辞書を持参して下さい。		
成績評価の方法・基準等	定期試験 60%、授業への積極的な取り組み状況(発表を含む)30%、小テスト10%とし、総合的に評価します。		
受講要件(履修条件)			
本科目の位置づけ/学習・教育目標			
備考(準備学習等)			

2010年度 前期	曜日・校時 水3	必修選択 必	単位数 1
授業コード 20100590009018 授業科目/(英語名)	●総合英語 I (Eb) Comprehensive English I		
対象年次 1年	講義形態 演習科目	教室 [全] 203	
対象学生(クラス等) Eb	科目分類 外国語科目		
担当教員(科目責任者) / Eメールアドレス/研究室/TEL/オフィシアワー 井上 一郎 / inoue@nagasaki-u.ac.jp / 教育学部 6 F / 819-2376 / 月曜日 4校時			
担当教員	井上 一郎		
授業のねらい/授業方法(学習指導法)/授業到達目標			
ねらい:英語の4技能のうち、特に、Reading と Listening の能力を伸ばすことがねらい。			
授業方法(学習指導法):テキストおよび聴覚機材を用いて、読解と正しい発音・聴き取る能力の涵養に努める。読解は精読と速読の両面から訓練を行う。パラグラフの内容の理解、パラグラフ間の関係などについて特に力を入れる。テキストの音読は正しい発音の指導の面から必須。テープの音を聞いて参考にしてもらう。			
到達目標:読解の面からは、単語の知識、文法応用能力、パラグラフの理解。Listening の面からは、まず正しい単語の発音とイントネーションの理解。			
授業内容(概要) /授業内容(毎週毎の授業内容を含む)			
第1回 4月14日 Introduction:テキストの説明、授業の目標の徹底、授業の計画、進め方の説明を行う。			
第2回 4月21日 MMONEY			
第3回 4月28日 DIAMONDS			
第4回 5月12日 THE OLYMPIC GAMES			
第5回 5月19日 DREAMS-WHY DO THEY DREAM?			
第6回 5月26日 THE PLANEMAKERS			
第7回 6月2日 AUCTION SALES			
第8回 6月9日 TO BE OR NOT TO BE A VEGETARIAN			
第9回 6月16日 THE HISTORY OF CHEMISTRY			
第10回 6月23日 THE UNITED NATIONS			
第11回 6月30日 PASTEURIZATION			
第12回 7月7日 MODERN SURGERY			
第13回 7月14日 SMOKING AND CANCER			
第14回 7月21日 RABIES			
第15回 7月28日 VITAMINS			
第16回目 8月4日 定期試験			
キーワード	精読、速読		
教科書・教材・参考書	PRACTICAL FASTER READING		
成績評価の方法・基準等	授業参加 20% 定期試験 80% 総合的に60点以上を合格とする。		
受講要件(履修条件)			
本科目の位置づけ/学習・教育目標			
備考(準備学習等)			

2010年度前期	曜日・校時 水4	必修選択 必	単位数 1																																																
授業コード 20100590009029 授業科目/(英語名)	●総合英語 I (Te) Comprehensive English I																																																		
対象年次 1年	講義形態 演習科目	教室 [全] 104																																																	
対象学生(クラス等) Te	科目分類 外国語科目																																																		
担当教員(科目責任者) / Eメールアドレス/研究室/TEL/オフィスアワー 藤本 ゆかり / / 非常勤講師控室 / 095-819-2078(全学教育事務室) / 授業終了後																																																			
担当教員	藤本 ゆかり																																																		
授業のねらい/授業方法(学習指導法)/授業到達目標																																																			
<p><b>ねらい:</b>世界中から発信された、最新の環境や健康に関するニュースを読み、興味深い内容の英文を通して、世界の環境や健康に対する関心を益々高め、知識を得、役立てる。フレーズ・リーディングという方法により、英語の理解度を高めると同時に、話す為・書く為の英文を作り上げる能力と技能を伸ばす。また、この方法を繰り返して練習することで、聴く力を養う。総合的な英語の技能を定着させ、さらに向上させる。また、和訳の仕方を学び、英文法の復習を行い、英語の基礎及び応用力を身に付ける。また、英字新聞を読む自信をつける。</p> <p><b>授業方法(学習指導法):</b>CD を用いながら、声に出して読む訓練を行い、話す能力へと発展させていく。発音の指導を行うので、積極的に活動に参加する。テキストに解答を書き込んで、理解を確かなものにする。読解の方法、和訳の技術、及び文法事項を説明する。英語習得の方法を、資料等を用いて指導する。</p> <p><b>到達目標:</b>健康に対して関心を持ち、生活に役立てることができる。話したいことを組み立てるための基本的な能力を養うことができる。英文を英語で理解し(読み・聴き)、英語で考えて英語を使う(話す・書く)能力の基を養成することができる。発音の改善ができる。和訳の技術を高めることができる。応用的な文法の運用ができるようになる。各自で目的を再認識し、英語の学習に対する意欲を持てるようになる。</p>																																																			
<p><b>授業内容(概要) / 授業内容(毎週毎の授業内容を含む)</b> リーディングの方法として、準備段階を踏んで、リーディング本来の活動(スキミング、スキヤニング、フレーズ・リーディング、リピーティング)を行う。CD を聴きながら、与えられたフレーズごとに日本語に訳をする。次に再びCD を聴いて、英文をフレーズごとにリピーティングする。リーディングについては、英文ニュース全体をスキミングとスキヤニングにより、内容の把握と理解をする。さらに、文法事項の復習を行い、TOEIC 形式の文法問題を解く。本文の表現を用いて、英作文をする。(テキストに無記入の箇所が無いように書き込んでいく。) また、英語の習得の方法について、資料等を用いて指導を行う。</p> <p>英文は英字新聞から選ばれてきたものであり、フレーズ・リーディングを行うことで、教科書は特色あるものである。毎回の授業には、必ず予習をして臨みましょう。英単語の意味を調べ、英作文を自分で考えておくこと。また、聴く・話すという能力は、毎日欠かさず練習しなくては向上しないので、テキスト付録の CD を用いて、自宅で予習と復習を必ず行って下さい。自学が非常に重要な意味を持ちます。継続が大切であり、各自目標を定めて努力することを期待します。</p> <table border="0"> <tr> <td>第 1 回</td> <td>4 月 1 5 日</td> <td>導入・授業内容の説明</td> <td>第 2 回</td> <td>4 月 2 2 日</td> <td>Unit 1</td> </tr> <tr> <td>第 3 回</td> <td>5 月 6 日</td> <td>Unit 2</td> <td>第 4 回</td> <td>5 月 1 3 日</td> <td>Unit 3</td> </tr> <tr> <td>第 5 回</td> <td>5 月 2 0 日</td> <td>Unit 4</td> <td>第 6 回</td> <td>5 月 2 7 日</td> <td>Unit 5</td> </tr> <tr> <td>第 7 回</td> <td>6 月 3 日</td> <td>Unit 6</td> <td>第 8 回</td> <td>6 月 1 0 日</td> <td>Unit 7</td> </tr> <tr> <td>第 9 回</td> <td>6 月 1 7 日</td> <td>Unit 8</td> <td>第 10 回</td> <td>6 月 2 4 日</td> <td>Unit 9</td> </tr> <tr> <td>第 11 回</td> <td>7 月 1 日</td> <td>Unit 1 0</td> <td>第 12 回</td> <td>7 月 8 日</td> <td>Unit 1 1</td> </tr> <tr> <td>第 13 回</td> <td>7 月 1 5 日</td> <td>Unit 1 2</td> <td>第 14 回</td> <td>7 月 2 2 日</td> <td>Unit 1 3</td> </tr> <tr> <td>第 15 回</td> <td>7 月 2 9 日</td> <td>Unit 1 4</td> <td>第 1 6 回目</td> <td>8 月 4 日</td> <td>定期試験</td> </tr> </table>				第 1 回	4 月 1 5 日	導入・授業内容の説明	第 2 回	4 月 2 2 日	Unit 1	第 3 回	5 月 6 日	Unit 2	第 4 回	5 月 1 3 日	Unit 3	第 5 回	5 月 2 0 日	Unit 4	第 6 回	5 月 2 7 日	Unit 5	第 7 回	6 月 3 日	Unit 6	第 8 回	6 月 1 0 日	Unit 7	第 9 回	6 月 1 7 日	Unit 8	第 10 回	6 月 2 4 日	Unit 9	第 11 回	7 月 1 日	Unit 1 0	第 12 回	7 月 8 日	Unit 1 1	第 13 回	7 月 1 5 日	Unit 1 2	第 14 回	7 月 2 2 日	Unit 1 3	第 15 回	7 月 2 9 日	Unit 1 4	第 1 6 回目	8 月 4 日	定期試験
第 1 回	4 月 1 5 日	導入・授業内容の説明	第 2 回	4 月 2 2 日	Unit 1																																														
第 3 回	5 月 6 日	Unit 2	第 4 回	5 月 1 3 日	Unit 3																																														
第 5 回	5 月 2 0 日	Unit 4	第 6 回	5 月 2 7 日	Unit 5																																														
第 7 回	6 月 3 日	Unit 6	第 8 回	6 月 1 0 日	Unit 7																																														
第 9 回	6 月 1 7 日	Unit 8	第 10 回	6 月 2 4 日	Unit 9																																														
第 11 回	7 月 1 日	Unit 1 0	第 12 回	7 月 8 日	Unit 1 1																																														
第 13 回	7 月 1 5 日	Unit 1 2	第 14 回	7 月 2 2 日	Unit 1 3																																														
第 15 回	7 月 2 9 日	Unit 1 4	第 1 6 回目	8 月 4 日	定期試験																																														
キーワード	リーディング / 英字新聞 / 世界の出来事 / 環境 / 健康																																																		
教科書・教材・参考書	Healing Our World 世界の環境と健康ニュースを読む (小笠原真司: 南雲堂) 英和辞典(電子辞書)を必携すること。																																																		
成績評価の方法・基準等	定期試験を筆記で行います。主に定期試験により評価をします。それに授業中の活動を加えます。定期試験 9 0 %、授業中の発表や活動 1 0 % を基準とします。また、受講中の態度を非常に重視します。																																																		
受講要件(履修条件)																																																			
本科目の位置づけ / 学習・教育目標	リーディング・スキルの定着と向上を図る。総合的な英語の能力の基本を習得する。世界への関心を益々高める。																																																		
備考(準備学習等)	授業には必ず予習をして臨んで下さい。英単語の意味を予め調べておき、文章の大意を掴んでおきます。																																																		



2010年度 前期	曜日・校時 水4	必修選択 必	単位数 1
授業コード 20100590009024 授業科目/(英語名)	●総合英語 I (Ti) Comprehensive English I		
対象年次 1年	講義形態 演習科目	教室 [全] 103	
対象学生(クラス等) Ti	科目分類 外国語科目		
担当教員(科目責任者) / Eメールアドレス/研究室/TEL/オフィスアワー 濱崎 大 / mohican007@hotmail.com / 非常勤講師室 / / 非常勤講師室在中可			
担当教員	濱崎 大		
<b>授業のねらい/授業方法(学習指導法)/授業到達目標</b> <b>ねらい:</b> 特に Reading に関してバランスの取れたスキルアップを目指します。 日本語訳、英語訳の対応力、判断力、そして応用力をつけていきます。 <b>授業方法(学習指導法):</b> できるだけ受講生に回答の機会を与えて、日本語とは違う英語を自然に理解できるように講義を進めていきます。 受講生は受動的な姿勢ではなく、自発的で積極的な姿勢が必要です。 <b>到達目標:</b> 日本語とは語順の違う英語を、より早く、より自然に日本語訳できるように、つまり“理解”できるようになります。			
<b>授業内容(概要) / 授業内容(毎週毎の授業内容を含む)</b> Unit の内容にそって、受講生に発言の機会を出来るだけ多く設けて進めていきます。 多様なトピックについて多く取り上げられている Text です。 Phrase Reading、Skimming-Scanning、Listening、意識の仕方、また、多種多様な単語、会話表現など、大学生に必要な Skill を Text で演習します。 (受講要件) 原則として全回出席をしなければ単位は成立しない。ただし、正当な理由で欠席する場合は個人指導を行う。(課外クラブ活動に関しては正当な理由とは認められません。) 講義、演習の妨害行為はモラルとして自重してください。目に余る場合は、退室及び辞退を申し入れます。  第 1 回 4 月 1 4 日 Introduction 第 2 回 4 月 2 1 日 Unit 1 Mt. Everest Trash Turned Into Other Men' s Treasure 第 3 回 4 月 2 8 日 Unit 2 Palestinian Ensemble Gives Cultural Lesson to Americans 第 4 回 5 月 1 2 日 Unit 3 Zambian Children Get Their Education Over the Radio 第 5 回 5 月 1 9 日 Unit 4 Plan Calls for Brazilian Schoolkids to Drink Coffee 第 6 回 5 月 2 6 日 Unit 5 U.N. Member States Urged to Observe Olympic Truce 第 7 回 6 月 2 日 Unit 6 Jewish, Muslim Students Live Together to Promote Peace 第 8 回 6 月 4 日 Unit 7 Bosnian Soccer Club Shows Unity Can Work 第 9 回 6 月 9 日 Unit 8 Aceh Students Join Tsunami Recovery Efforts 第 10 回 6 月 1 6 日 Unit 9 Palestinian Rappers Fight Occupation with Music, Not Bombs 第 11 回 6 月 2 3 日 Unit 10 Beijing Suggests Rooftop Lawns for Cleaner Air 第 12 回 6 月 3 0 日 Unit 11 Start of School Year Signals Progress for Afghanistan 第 13 回 7 月 7 日 Unit 12 Tiny Chilean Clarinet Maker Crafts World' s Best 第 14 回 7 月 1 4 日 Unit 13 U.N. Vet Spreads Goodwill in War-Torn Lebanon 第 15 回 7 月 2 1 日 Unit 14 Environmentalists Offer Tips for Happy Green Holidays 第 1 6 回 8 月 1 日 Final Examination			
キーワード			
教科書・教材・参考書	Message to Our Future 金星堂 各自持っている参考書、辞書(英和、和英)		
成績評価の方法・基準等	Class Attendance and Participation: 30% Examination: 70%		
受講要件(履修条件)	「授業内容」参照		
本科目の位置づけ/学習・教育目標			
備考(準備学習等)			

2010年度 前期	曜日・校時 水4	必修選択 必	単位数 1
授業コード 20100590009023 授業科目/(英語名)	●総合英語 I (Tj) Comprehensive English I		
対象年次 1年	講義形態 演習科目	教室 [全] 402	
対象学生(クラス等) Tj		科目分類 外国語科目	
担当教員(科目責任者) / Eメールアドレス/研究室/TEL/オフィスアワー 中村 吏花 / arthur410@hotmail.co.jp / 非常勤講師室 / / 水曜昼休み			
担当教員	中村 吏花		
<b>授業のねらい/授業方法(学習指導法)/授業到達目標</b> <b>ねらい:</b> 英字新聞の特徴(その独特の表現や専門用語)を知る。 世界のニュースに触れ、世界中で起こっているさまざまな出来事を知り、その背景を理解する。 また、日本の現状を客観的に見る目を養う。 高校までに学習してきた英語の基礎的な文法事項を再確認する。新出語句や表現を習得する。 英語の音の特徴を知り、慣れる。  <b>授業方法(学習指導法):</b> 英文解釈や英文音読など毎回無作為に指名して発表してもらう。 CDを活用して、英語の音の特徴を確認するとともに、ディクテーションや音読など英語を聞き・読む訓練をする。 重要文法事項を解説する。  <b>到達目標:</b> 英字新聞から、自分が必要とする情報を正しく適切に読み取ることが出来る。 基本的な文法・構文・表現方法を習得し、英語を正しく理解することが出来る。			
<b>授業内容(概要)/授業内容(毎週毎の授業内容を含む)</b> 始めに速読、それから精読を意識して、本文の内容を確認する。語句・表現・文法の解説をする。 英語の音の特徴・リズムを知り、英文の構造に慣れるため、CDを活用してディクテーションや音読など英語を聞き・読む訓練をする。英語の語順を意識して、長文を読む。 授業には必ず予習をして臨み、辞書を持参してください。(電子辞書可。携帯電話は使用不可)。 実際の英字新聞から引用された英文を読みながら、英字新聞特有の英語の決まりを知り、練習問題を通して英文記事を読む事に慣れていきましょう。テキストを読むことと平行して、図書館やインターネットで自分の興味のある分野の英字新聞記事を読む訓練もやってみましょう。 内容がよくつかめない時は、何がわからないのかを明らかにさせてきてください。 文の構造がどうなっているのか、その文脈ではどういう意味でその単語が使われているのか、代名詞が何を指しているか、など、細かく確認していくと、わからないところがはっきりすると思います。速読・精読を意識して記事を読んでいきましょう。*教室に座っていれば出席というものではありません。予習をして授業に臨み(予習が十分にできていない場合は出席とはみなしません)、他の人の発表に耳を傾け、疑問があれば質問し、積極的に授業に取り組んで初めて出席とみなします。授業開始時刻から30分までは遅刻を認めます。それより遅い入室は欠席扱いとします。			
第1回 2010/4/14 Introduction 第2回 2010/4/21 英字新聞の見出し(1)                      第3回 2010/4/28 英字新聞の見出し(2) 第4回 2010/5/12 英字新聞の見出し(3)                      第5回 2010/5/19 英字新聞の見出し(4) 第6回 2010/5/26 英字新聞の見出し(5)                      第7回 2010/6/2 英字新聞の見出し(6) 第8回 2010/6/9 英字新聞の見出し(7)                        第9回 2010/6/16 英字新聞の見出し(8) 第10回 2010/6/23 書き出しの構造(1)                        第11回 2010/6/30 書き出しの構造(2) 第12回 2010/7/7 書き出しの文法(1)                        第13回 2010/7/14 書き出しの文法(2) 第14回 2010/7/21 書き出しの文法(3)                        第15回 2010/7/28 Review 第16回 2010/8/4 定期試験			
キーワード			
教科書・教材・参考書	神本忠光『はじめての英字新聞』(朝日出版社、2010年)1575円 *必ずテキスト本体を入手して出席してください。テキストのない人の受講を認めません。		
成績評価の方法・基準等	定期試験65%、課題15%、積極的な授業への参加状況20%(出席点はありません) *一度も本文の内容説明をしなかった人は「積極的な授業への参加状況」の配点が0点となります。		
受講要件(履修条件)	3分の2以上の出席がないと定期試験を受験できません。(入院・出席停止の伝染病等を除き、病欠も欠席扱いとします)。 正当な理由で欠席する場合は、その証明となる書類を提出してください(コピー可)。		
本科目の位置づけ/学習・教育目標			
備考(準備学習等)			

2010年度 前期	曜日・校時 水4	必修選択 必	単位数 1
授業コード 20100590009022 授業科目/(英語名)	●総合英語 I (Tc) Comprehensive English I		
対象年次 1年	講義形態 演習科目	教室 [全] 301	
対象学生(クラス等) Tc	科目分類 外国語科目		
担当教員(科目責任者) / Eメールアドレス/研究室/TEL/オフィスアワー 加島 巧 / kashima@tc.nagasaki-gaigo.ac.jp / 非常勤講師室 / / 授業終了後の教室			
担当教員	加島 巧		
<p><b>授業のねらい/授業方法(学習指導法)/授業到達目標</b></p> <p><b>ねらい:</b> 下記のテキスト使用し、読解、リスニング、英作文力を付けてゆきます。英語の総合力を伸ばすことを目標としますが、なかでも、正しく読むことを中心に授業を行います。</p> <p><b>授業方法(学習指導法):</b> 毎回決められた量のテキスト読み、問題を解いてゆきます。授業の最初には速読対策のプリントでモチベーションを高めます。</p> <p><b>到達目標:</b> 1回目のオリエンテーション後の2回目と15回目には同じレベルの英語能力判定テストを実施しますので、まず、自分の英語能力を判定し、半年後の伸びを図って見ます。</p>			
<p><b>授業内容(概要) / 授業内容(毎週毎の授業内容を含む)</b></p> <p>第1回 4月14日オリエンテーション  第2回 4月21日英語能力判定テスト  第3回 4月28日 Momofuku Ando (インスタントラーメン王)  第4回 5月12日 Umeko Tsuda (女子教育に捧げた人生)  第5回 5月19日 Steve Jobs (コンピュータと音楽プレーターの変革)  第6回 5月26日 Haruki Murakami (世界は『ノルウェイの森』を歩く)  第7回 6月2日 Soichiro Honda (ホンダは世界を疾走する)  第8回 6月9日 Clarence Saunders (セルフサービス方式のビジネスモデル)  第9回 6月16日 The McDonald Brothers and Ray Kroc (君知るや、マックの由来)  第10回 6月23日 Shigeru Yoshida (サンフランシスコ講和条約)  第11回 6月30日 John Manjiro (中浜万次郎 漁師の倅アメリカへ)  第12回 7月7日 Hideo Nomo (野茂秀雄、大リーガーの開拓者)  第13回 7月14日 Steve Jobs (コンピュータと音楽プレーヤーの変革)  第14回 7月21日 Kyu Sakamoto (上を向いて歩こう)  第15回 7月28日英語能力判定テスト  第16回目: 8月4日: 定期試験</p>			
キーワード	日米の懸け橋		
教科書・教材・参考書	Across the Pacific Ocean (日米の架け橋になった人々) 成美堂 (最初の授業時に教室でテキストを販売します。テキスト代1890円を用意してください。) 必要に応じてプリントを配布します。		
成績評価の方法・基準等	授業への積極的参加 30% 小テスト 20% 定期試験 50%		
受講要件(履修条件)	授業には辞書を持参してください。電子辞書可。授業中の携帯電話の使用は禁止します。		
本科目の位置づけ/学習・教育目標			
備考(準備学習等)			

2010年度 前期	曜日・校時 木1	必修選択 必	単位数 1
授業コード 20100590009025 授業科目/(英語名)	●総合英語 I (M12) Comprehensive English I		
対象年次 1年	講義形態 演習科目	教室 [全] 303	
対象学生(クラス等) M12	科目分類 外国語科目		
担当教員(科目責任者) / Eメールアドレス/研究室/TEL/オフィシアワー 山口 敦子 / / 非常勤講師控室 / 095 (846) 0084 / 授業終了後			
担当教員	山口 敦子		
授業のねらい/授業方法(学習指導法)/授業到達目標			
<p><b>ねらい:</b>幕末の長崎における医学、薬学、工学の近代化に関するテキストを講読し、英語の読解力を強化する。CDを使用しながら、リスニング力を向上させ、英文のリズムを体得する。日本の医学、薬学、工学の歴史についての知識を深めながら、各分野の専門用語の習得に努める。</p> <p><b>授業方法(学習指導法):</b>毎回和訳とリスニングを中心にテキストを読み進める。あらかじめ指定された担当者はテキストを音読し、和訳を発表する。</p> <p><b>到達目標:</b>語彙力、文法力を強化するとともに、論理的な英文の構造に慣れ、将来専門分野における論文を読みこなせる力に繋げる。幕末の長崎でいかに西洋の医学、薬学、工学の知識や技術が導入され、発展してきたかに関するテキストを読むことで、発展に貢献した先人たちのパイオニア精神を学び、国際的な知識の交流に対する関心を高める。</p>			
授業内容(概要) / 授業内容(毎週毎の授業内容を含む)			
<p>毎回和訳とリスニングを中心に一つのユニットを読み進める。あらかじめ指定された担当者はテキストを読み、和訳を発表する。受講生は前もってユニットの予習、CDによるリスニングの練習、内容把握や語彙確認のための付属の問題演習を行い、授業に備えておく。</p> <p>第1回 インTRODクシヨN 幕末の長崎について  第2回 Unit1 西洋技術を伝えたブルック博士(1)  第3回 Unit2 西洋技術を伝えたブルック博士(2)  第4回 Unit3 日本最初の医学学校の創始者ポンペ博士(1)  第5回 Unit4 日本最初の医学学校の創始者ポンペ博士(2)  第6回 Unit5 オランダ海軍と日本への技術移転(1)  第7回 Unit6 オランダ海軍と日本への技術移転(2)  第8回 Unit7 オランダ海軍と日本への技術移転(3)  第9回 Unit8 オランダ海軍と日本への技術移転(4)  第10回 Unit9 西洋式化学と薬学の導入  第11回 Unit10 オランダ蒸気船会社フェイエノールトと日本の関係(1)  第12回 Unit11 オランダ蒸気船会社フェイエノールトと日本の関係(2)  第13回 Unit12 オランダ蒸気船会社フェイエノールトと日本の関係(3)  第14回 Unit13 オランダ蒸気船会社フェイエノールトと日本の関係:長崎蒸気工場 1856年  第15回 Unit15 1850年頃の医学の概観  第16回目 8月5日 期末試験</p>			
キーワード			
教科書・教材・参考書	『幕末・近代化の先覚者たち—幕末の長崎を英語で読み解く—』(英光社)		
成績評価の方法・基準等	授業中への積極的な取り組み状況 10点 小テスト20点 期末試験 70点		
受講要件(履修条件)	必ず予習をして望むこと。		
本科目の位置づけ/学習・教育目標			
備考(準備学習等)			

2010年度 前期	曜日・校時 木2	必修選択 必	単位数 1
授業コード 20100590009026 授業科目/(英語名)	●総合英語 I (M14) Comprehensive English I		
対象年次 1年	講義形態 演習科目	教室 [全] 303	
対象学生(クラス等) M14	科目分類 外国語科目		
担当教員(科目責任者) / Eメールアドレス/研究室/TEL/オフィスアワー 山口 敦子 / / 非常勤講師控室 / 095-846-0084 / 授業終了後			
担当教員	山口 敦子		
授業のねらい/授業方法(学習指導法)/授業到達目標			
<p><b>ねらい:</b>日本でも親しまれている欧米の物語やエッセイを原文で読むことによって、文法力や語彙力を増やし、長文の読解力を強化することを目標とする。CDを用いてリスニング力を向上させ、英文のリズムを体得する。本年度はThe Little Prince(『星の王子様』)をテキストとして取り上げる。本来言語と切り離して考えることの出来ない文化的背景とともに生きた英語を味わっていく。</p> <p><b>授業方法(学習指導法):</b>毎回和訳とリスニングを中心にテキストを読み進める。精読と速読を組み合わせることで、英文の読解力の向上を図る。あらかじめ指定された担当者はテキストを音読し、和訳を発表する。</p> <p><b>到達目標:</b>英語の文法力や語彙力を増やし、重要な構文をきちんと把握しながら、長文の読解力を強化する。CDに収められている情感に富む生き生きとした英語を聞くことで、リスニング力を向上させ、日本語とは異なる英文独特のリズムやイントネーションを体得できるようにする。名作ならではの感銘深い有名な台詞を英語で暗唱できるようにする。</p>			
授業内容(概要) / 授業内容(毎週毎の授業内容を含む)			
<p>テキストの中から重要な場面を取り上げ、和訳とリスニングを中心に本文を4～5頁読み進める。受講者は前もってその箇所を予習しておく。あらかじめ指定された担当者はテキストを読み、和訳を発表する。</p> <p>第1回 Chapter 1.2  第2回 Chapter 3.4  第3回 Chapter 5.6  第4回 Chapter 7  第5回 Chapter 8  第6回 Chapter 8.9  第7回 Chapter 16.17  第8回 Chapter 18.19  第9回 Chapter 20.21  第10回 Chapter 21  第11回 Chapter 22.23.24  第12回 Chapter 25  第13回 Chapter 26  第14回 Chapter 26  第15回 Chapter 27  第16回目 8月5日 期末試験</p>			
キーワード			
教科書・教材・参考書	The Little Prince 『星の王子さま』		
成績評価の方法・基準等	授業への積極的な取り組み状況(発表) 20% 期末試験 80%		
受講要件(履修条件)	必ず予習をして望むこと。		
本科目の位置づけ/学習・教育目標			
備考(準備学習等)			



2010年度 前期	曜日・校時 木3	必修選択 必	単位数 1
授業コード 20100590009028 授業科目/(英語名)	●総合英語 I (Ta) Comprehensive English I		
対象年次 1年	講義形態 演習科目	教室 [全] 205	
対象学生(クラス等) Ta	科目分類 外国語科目		
担当教員(科目責任者) / Eメールアドレス/研究室/TEL/オフィシアワー 勝俣 好充 / / 非常勤講師室 / 095-846-0084 (長崎純心大学) / 3限終了後、教室にて。			
担当教員	勝俣 好充		
授業のねらい/授業方法(学習指導法)/授業到達目標			
<p><b>ねらい:</b>大学において第二言語として英語を学ぶ目的、方法、考え方をあらためて整理・明確化し、これまでの学習の蓄積を俯瞰・統合・活性化することにつとめる。とくに英文の基本構造を正確に把握する力をやしなうことをねらいとする。受講者はそのためのスキルを主体的に再編・確認することがもとめられる。</p> <p><b>授業方法(学習指導法):</b>基本事項を確認した後、テキスト読解を中心に、指名された学生はテキストの当該箇所について発表し、他の学生の質問に答えるというかたちですすめる。</p> <p><b>到達目標:</b>英文の構造を語、句、節、文、段落のレベルでそれぞれ理解し、300語程度の比較的短い論説文を正確に読み解くことができるようになること。</p>			
授業内容(概要) / 授業内容(毎週毎の授業内容を含む)			
<p>最初にあらためて英語を学ぶ目的、方法、考え方を整理・明確化することからはじめ、その後、音声、文法、論旨の把握にかんする基本事項を確認し、テキスト演習をとおして、これまでの英語学習の蓄積を統合・活性化していく。授業終了後には、英語習得のスキルとして、みずから編集したレジュメを提出課題とする。そのようにして再確認された英語力によって、期末試験にのぞむことになる。</p> <p>第1回 4月15日、英語を学ぶ目的、方法、考え方  第2回 4月22日、音声の基本事項(1)、母音と子音  第3回 5月6日、音声の基本事項(2)、強勢、リズム  第4回 5月13日、文法の基本事項(1)、品詞、句、節  第5回 5月20日、文法の基本事項(2) 主部の構造  第6回 5月27日、文法の基本事項(3) 述部の構造  第7回 6月3日、論旨の基本事項(1) パラグラフの構造  第8回 6月10日、論旨の基本事項(2) 論旨の展開  第9回 6月17日、テキスト演習(1)  第10回 6月24日、テキスト演習(2)  第11回 7月1日、テキスト演習(3)  第12回 7月8日、テキスト演習(4)  第13回 7月15日、テキスト演習(5)  第14回 7月22日、テキスト演習(6)  第15回 7月29日、まとめ第16回、8月5日、定期試験。</p>			
キーワード			
教科書・教材・参考書	テキストはプリントを使用。参考書は随時紹介する。		
成績評価の方法・基準等	提出課題30%、期末試験70%。		
受講要件(履修条件)			
本科目の位置づけ/学習・教育目標			
備考(準備学習等)			

2010年度 前期	曜日・校時 木3	必修選択 必	単位数 1
授業コード 20100590009027 授業科目/(英語名)	●総合英語 I (Tb) Comprehensive English I		
対象年次 1年	講義形態 演習科目	教室 [全] 203	
対象学生(クラス等) Tb	科目分類 外国語科目		
担当教員(科目責任者) / Eメールアドレス/研究室/TEL/オフィスアワー 大里 泰弘 / ms6osatmy@hotmail.co.jp / 非常勤講師室 / / 授業時に要確認			
担当教員	大里 泰弘		
授業のねらい/授業方法(学習指導法)/授業到達目標 ねらい: ・基礎英語力の確認 ・TOEIC受験準備 ・実用的コミュニケーションスキルの育成 授業方法(学習指導法): 語彙・文法に関する語学能力増強を目的とした練習を中心に、コミュニケーションタスクを導入する 到達目標: TOEIC頻出のテーマごとに基礎語彙を学習し、リスニングやリーディング練習を行いTOEIC受験の基礎を定着させる。同時に、基本的な自己表現ができるようなコミュニケーション能力の育成を目標とする。			
授業内容(概要)/授業内容(毎週毎の授業内容を含む) TOEIC Bridge リスニング・セクション, リーディング・セクションの基礎固め  第1回 4/15 Introduction L1 Sample Questions 第2回 4/22 L2 Daily Life 第3回 5/6 L3 Places 第4回 5/13 L4 People & Professions 第5回 5/20 L5 Things around Us 第6回 5/27 L6 Expressing Ideas 第7回 6/3 L7 Action 第8回 6/10 L8 Situations 第9回 6/17 L9 Describing things 第10回 6/24 L10 Company & Business 第11回 7/1 L11 Marketing 第12回 7/8 L12 Education & Others 第13回 7/15 L13 Entertainment 第14回 7/22 L14 Practice Test 第15回 7/29 Expressing ideas- Practicum 第16回 8/5 定期試験			
キーワード			
教科書・教材・参考書	Over the TOEIC Bridge TEST Pearson Longman		
成績評価の方法・基準等	授業時の QUIZ・課題提出, 定期試験を総合的に評価する。		
受講要件(履修条件)			
本科目の位置づけ/学習・教育目標			
備考(準備学習等)			

2010年度 前期	曜日・校時 金1	必修選択 必	単位数 1
授業コード 20100590009030 授業科目/(英語名)	●総合英語 I (D16・17) Comprehensive English I		
対象年次 1年	講義形態 演習科目	教室 [全] 205	
対象学生(クラス等) D16・17	科目分類 外国語科目		
担当教員(科目責任者) / Eメールアドレス/研究室/TEL/オフィシアワー 濱崎 大 / mohican007@hotmail.com / 非常勤講師室 / / 非常勤講師室在中可			
担当教員	濱崎 大		
<b>授業のねらい/授業方法(学習指導法)/授業到達目標</b> <b>ねらい:</b> リーディングを中心に必要な構文をより多く学ぶ機会を増やし、日本語訳、英語訳の対応力をつけていきます。また、意識の方法を学びながら、判断力、応用力をつけていきます。 <b>授業方法(学習指導法):</b> 受講生に回答の機会を与えて、日本語とは違う英語を自然に理解できるように講義を進めていきます。受講生は受動的な姿勢ではなく、自発的で積極的な姿勢が必要です。 <b>到達目標:</b> 日本語とは語順の違う英語を、より早く、より自然に日本語訳できるように、つまり“理解”できるようになります。同時に、英語力だけではなく教科書の内容から得る事ができる情報も、知識人として必要なものになります。			
<b>授業内容(概要) / 授業内容(毎週毎の授業内容を含む)</b> Unit の内容にそって、受講生に発言の機会を出来るだけ多く設けて進めていきます。テーマは幕末の長崎について多く取り上げられている Text ですが、Phrase Reading、Skimming-Scanning、Listening、意識の仕方、また、多種多様な単語、会話表現など、大学生に必要な Skill を Text で習得して行きます。 (受講要件) 原則として全回出席をしなければ単位は成立しない。ただし、正当な理由で欠席する場合は個人指導を行う。(課外クラブ活動に関しては正当な理由とは認められません。) 講義、演習の妨害行為はモラルとして自重してください。目に余る場合は、退室及び辞退を申し入れます。 第 1 回 4 月 1 6 日 Introduction 第 2 回 4 月 2 3 日 Unit 1 Dr. Jan Karel Van den Broek as a Teacher of Western Technology (1) 第 3 回 4 月 3 0 日 Unit 2 Dr. Jan Karel Van den Broek as a Teacher of Western Technology (2) 第 4 回 5 月 7 日 Unit 3 Pompe van Meerdervoort: Founder of the First Medical School in Japan (1) 第 5 回 5 月 1 4 日 Unit 4 Pompe van Meerdervoort: Founder of the First Medical School in Japan (2) 第 6 回 5 月 2 1 日 Unit 5 The Dutch Navy and the Transfer of Technology to Japan (1) 第 7 回 5 月 2 8 日 Unit 6 The Dutch Navy and the Transfer of Technology to Japan (2) 第 8 回 6 月 4 日 Unit 7 The Dutch Navy and the Transfer of Technology to Japan (3) 第 9 回 6 月 1 1 日 Unit 8 Fat The Dutch Navy and the Transfer of Technology to Japan (4) 第 10 回 6 月 1 8 日 Unit 9 The Introduction of Western-Style Chemistry and Pharmacy 第 11 回 6 月 2 5 日 Unit 10 The Dutch Steamship Company Fijenoord and its Dealings with Japan (1) 第 12 回 7 月 2 日 Unit 11 The Dutch Steamship Company Fijenoord and its Dealings with Japan (2) 第 13 回 7 月 9 日 Unit 12 The Dutch Steamship Company Fijenoord and its Dealings with Japan (3) 第 14 回 7 月 1 6 日 Unit 13 The Dutch Steamship Company Fijenoord and its Dealings with Japan: Steam Factory Nagasaki 1856 第 15 回 7 月 2 3 日 Unit 14 The Dutch Steamship Company Fijenoord and its Dealings with Japan: Growth 1861-1865 第 1 6 回 8 月 6 日 Final Examination			
キーワード			
教科書・教材・参考書	Pioneers of Western-Style Medical Education and Modern Technology in Japan 英光社 各自持っている参考書、辞書(英和、和英)		
成績評価の方法・基準等	Class Attendance and Participation: 30% Final Examination 70% (内 共通 Examination: 30%)		
受講要件(履修条件)	「授業内容」参照		
本科目の位置づけ/学習・教育目標			
備考(準備学習等)			

2010年度 前期	曜日・校時 金2	必修選択 必	単位数 1
授業コード 20100590009031 授業科目/(英語名)	●総合英語 I (M11) Comprehensive English I		
対象年次 1年	講義形態 演習科目	教室 [全] CALL1	
対象学生(クラス等) M11	科目分類 外国語科目		
担当教員(科目責任者) / Eメールアドレス/研究室/TEL/オフィスアワー 小笠原 真司 / ogasa-s@nagasaki-u.ac.jp / 環境科学部 1階 / 095-819-2094 / 水2 木3 金5			
担当教員	小笠原 真司		
<b>授業のねらい/授業方法(学習指導法)/授業到達目標</b> <b>ねらい:</b> このクラスは、幕末の長崎における医学・薬学・工学に関する近代化の歴史を学びながら、リーディング力および専門に関する英単語を含めた語彙力の養成を行います。また、リスニングや音読の訓練も行い、音声面での強化も行います。 <b>授業方法(学習指導法):</b> 演習形式で行います。指定されたテキストは、その場で読んでもらい大意を取る練習をするとともに、細かな部分は家庭で精読してもらいます。指定された範囲をきちんと読んで、予習しておくことも大切です。また授業中に配布するプリント教材を用いて、リスニングの練習や専門語彙修得を図ります。 <b>到達目標:</b> テキストの英文を辞書なしでも大意がとれるようにします。語彙レベルでは、テキストで指定された Key Word 約 200 語およびテキスト中の Words and Phrases 約 300 語の計 500 語を確実に意味がわかるようにします。また、テキスト中に指定してある Key Sentence として、約 60 の構文が書けるようにします。同時に CD を使い、その構文が言えるようにします。			
<b>授業内容(概要)/授業内容(毎週毎の授業内容を含む)</b> 授業の最初には、英語構文や英単語の小テストを行います。これは、テキストからテスト範囲を毎回指定しますから、家庭で必ずテキストについている CD を使いながら学習してきてください。成績の 20%は、この小テストにて評価されます。 その後、リーディングの練習をします。学生は指示された範囲や内容を必ず予習して授業に参加してください。ここでは、音読の練習も行います。英語のリズムや音から英語を学ぶことも大切です。また、このテキストを用いて、時間を制限して読んでもらい、大意をつかみ、必要な情報を読み取る練習をします。この教材は、家庭でさらに精読してきてもらいます。次回の授業において、その精読の確認を行います。 またプリント教材を用いて、リスニングの練習や語彙の強化の練習をします。 英語の力を維持し、さらに向上させるためには、大学での授業に加えて家庭での学習が必要となります。英語が苦手な学生もいると思いますが、担当者から指示された家庭学習や予習を行えば、必ず英語の力は向上します。がんばってください。			
第 1 回 オリエンテーション Unit 1. Dr. Broek as a Teacher of Western Technology (1) 第 2 回 Unit 2. Dr. Broek as a Teacher of Western Technology (2) 第 3 回 Unit 3. Pompe: Founder of the First Medical School in Japan (1) 第 4 回 Unit 4. Pompe: Founder of the First Medical School in Japan (2) 第 5 回 Unit 5. The Dutch Navy and the Transfer of Technology to Japan (1) 第 6 回 Unit 6. The Dutch Navy and the Transfer of Technology to Japan (2) 第 7 回 Unit 7. The Dutch Navy and the Transfer of Technology to Japan (3) 第 8 回 Unit 8. The Dutch Navy and the Transfer of Technology to Japan (4) 第 9 回 Unit 9. The Introduction of Western-Style Chemistry and Pharmacy 第 10 回 Unit 10. The Dutch Steamship Company and its Dealings with Japan (1) 第 11 回 Unit 11. The Dutch Steamship Company and its Dealings with Japan (2) 第 12 回 Unit 12. The Dutch Steamship Company and its Dealings with Japan (3) 第 13 回 Unit 13. Steam Factory Nagasaki 1856 第 14 回 Unit 14. Growth 1861-1865 第 15 回 Unit 15. Further Reading Medicine around 1850 - an Overview 必修語彙 500 および基本構文 60 の確認 16 回 定期試験 (2010年8月6日)			
キーワード	スキミング、スキヤニング、キーワードリーディング、フレーズリーディング、リピーティング		
教科書・教材・参考書	教科書(テキスト): Pioneers of Western-Style Medical Education and Modern Technology in Japan (EIKO-SHA) (CD付) 1,900 円(第 1 回目の授業時に教室にて販売します) 教材: プリント教材 毎回配布します。		
成績評価の方法・基準等	成績評価は、 ○定期試験 70%、毎回の小テスト 20%、授業中の発表 10%で行います。		
受講要件(履修条件)	全回出席が原則。教科書も必ず購入すること。		
本科目の位置づけ/学習・教育目標			
備考(準備学習等)			

2010年度 前期	曜日・校時 金3	必修選択 必	単位数 1
授業コード 20100590009036 授業科目/(英語名)	●総合英語 I (Tg) Comprehensive English I		
対象年次 1年	講義形態 演習科目	教室 [全] 302	
対象学生(クラス等) Tg	科目分類 外国語科目		
担当教員(科目責任者) / Eメールアドレス/研究室/TEL/オフィスアワー 山田 健太郎 / k-yamada@sun.ac.jp / 非常勤講師控室 / / 授業の前後			
担当教員	山田 健太郎		
授業のねらい/授業方法(学習指導法)/授業到達目標 ねらい:リーディングとリスニングに重点をおきながら、英語の4技能(リーディング・ライティング・リスニング・スピーキング)を総合的に向上させることをめざす。  授業方法(学習指導法):具体的には、英文学習雑誌 English-Plus の中から、比較的短くて読みやすいエッセイを選び、1回の授業で1エッセイを読む。これとは別に TOEIC の練習問題を毎回して、目標を意識した学習を心がける。ディクテーション・テストも組み入れてリスニング力も強化する。  到達目標:TOEIC400点程度の英語力			
授業内容(概要)/授業内容(毎週毎の授業内容を含む) 英語力鍛錬のため、毎回英英辞典を使ったクイズ、課題エッセイについての英問英答、TOEIC 対策テキストを数ページする。数回おきにテキスト指定箇所のディクテーションテストを行なう。適宜実力テストを実施する。 第1回 4/16 第1回 オリエンテーション(英英辞典の利用や、リスニング力向上のためのコツなど、英語学習全般について) 第2回 4/23 第2回 エッセイ1 Q&A、TOEIC 対策テキスト Drill 1, 2 第3回 4/30 第3回 エッセイ2 Q&A、TOEIC 対策テキスト Drill 3, 4 第4回 5/7 第4回 エッセイ3 Q&A、TOEIC 対策テキスト Drill 5, 6, 7, 8 第5回 5/14 第5回 エッセイ4 Q&A、TOEIC 対策テキスト Drill 9, 10 第6回 5/21 第6回 エッセイ5 Q&A、TOEIC 対策テキスト Drill 11, 12 第7回 5/28 第7回 エッセイ6 Q&A、TOEIC 対策テキスト Drill 13, 14 ディクテーションテスト 第8回 6/4 第8回 エッセイ7 Q&A、TOEIC 対策テキスト Drill 15, 16 第9回 6/11 第9回 エッセイ8 Q&A、TOEIC 対策テキスト Drill 17, 18, 19, 20 第10回 6/18 第9回 エッセイ8 Q&A、TOEIC 対策テキスト Drill 17, 18, 19, 20 第11回 6/25 第11回 エッセイ10Q&A、TOEIC 対策テキスト Drill 23, 24 第12回 7/2 第12回 エッセイ11Q&A、TOEIC 対策テキスト Drill 25, 26 第13回 7/9 第13回 エッセイ12Q&A、TOEIC 対策テキスト Drill 27, 28 ディクテーションテスト 第14回 7/16 第14回 エッセイ13Q&A、TOEIC 対策テキスト Drill 29, 30, 31, 32 第15回 7/23 第15回 エッセイ14Q&A、TOEIC 対策テキスト Drill 33, 34, 35, 36 第16回目 8月6日 定期試験			
キーワード			
教科書・教材・参考書	English-Plus (採用ナンバーは後日決定する) 『新 TOEIC Test 文法・リーディング対策 初級問題集』松柏社		
成績評価の方法・基準等	定期試験 60%、小テスト 20%、積極的な授業への参加度 20%定期試験 60%、小テスト 20%、積極的な授業への参加度 20%		
受講要件(履修条件)			
本科目の位置づけ/学習・教育目標			
備考(準備学習等)			



2010年度 前期	曜日・校時 金3	必修選択 必	単位数 1
授業コード 20100590009035 授業科目/(英語名)	●総合英語 I (Tf) Comprehensive English I		
対象年次 1年	講義形態 演習科目	教室 [全] 401	
対象学生(クラス等) Tf	科目分類 外国語科目		
担当教員(科目責任者) / Eメールアドレス/研究室/TEL/オフィスアワー ペー シュウキー / / 非常勤講師室 / 095-819-2078 (全学教育事務室) /			
担当教員	ペー シュウキー		
<b>授業のねらい/授業方法(学習指導法)/授業到達目標</b> <b>ねらい:</b> 健康や環境を中心とした英語のニュース記事を読み、また関連するニュースを聞いた上で、自分の考えを話したり、コメントを書いたりすることで、各種スキルを向上させる  <b>授業方法(学習指導法):</b> 授業は毎回一 Unit ずつ進む。授業のねらいに沿って、毎回各種の活動を取り入れる。  <b>到達目標:</b> 英語のニュースを読んだり聞いたりして、理解した上で、その内容について自分の意見やコメントを英語で簡潔に表現できるようになる			
<b>授業内容(概要) /授業内容(毎週毎の授業内容を含む)</b>  第 1 回 4月16日 オリエンテーション 第 2 回 Unit 2 "Humble" Potato Emerging as World's Next Food Source 第 3 回 Unit 3 Offices Use Ice to Cool Down and Save Power 第 4 回 Unit 4 Study: Exercise in Middle Age Cuts Risk of Alzheimer's 第 5 回 Unit 5 Egyptians Look to Desert for Hot Residential Property 第 6 回 Unit 6 College Students Feel Better After Screaming Together 第 7 回 Unit 7 Indian Dam Drowns Valley, Angering Farmers 第 8 回 Unit 8 Smoking Bans Could Cut into Cuban Cigar Sales 第 9 回 Unit 9 Global Warming Claiming Next Victim: Andes Water 第 10 回 Unit 10 Aborigines Still Rely on Bush Medicines for Remedies 第 11 回 Unit 11 African Farmers Seek Ways to Survive Droughts 第 12 回 Unit 12 Study: Fruity Cocktails May Be Good for Health 第 13 回 Unit 13 Rising Seas May Force Island Nations to Evacuate 第 14 回 Unit 14 Malaysians Getting Appetite for Healthier Eating 第 15 回 Unit 15 Planned Chinese City Wants All Eco-Friendly Power 第 16 回 8月6日 Final Exam			
<b>キーワード</b>			
教科書・教材・参考書	教科書: Healing Our World Today's Health and Environment News (南雲堂出版) 教科書は第一回目の授業時に教室にて販売します。		
成績評価の方法・基準等	Participation 30% Homework 30% Final Exam 40%		
受講要件(履修条件)	英英辞典(電子辞書可)を持参すること		
本科目の位置づけ/学習・教育目標			
備考(準備学習等)			

2010年度 前期	曜日・校時 金3	必修選択 必	単位数 1
授業コード 20100590009034 授業科目/(英語名)	●総合英語 I (Ka) Comprehensive English I		
対象年次 1年	講義形態 演習科目	教室 [全] 403	
対象学生(クラス等) Ka	科目分類 外国語科目		
担当教員(科目責任者) / Eメールアドレス/研究室/TEL/オフィスアワー 濱崎 大 / mohican007@hotmail.com / 非常勤講師室 / / 非常勤講師室在中可			
担当教員	濱崎 大		
授業のねらい/授業方法(学習指導法)/授業到達目標			
<p><b>ねらい:</b>特に Reading に関してバランスの取れたスキルアップを目指します。日本語訳、英語訳の対応力、判断力、そして応用力をつけていきます。</p> <p><b>授業方法(学習指導法):</b>できるだけ受講生に回答の機会を与えて、日本語とは違う英語を自然に理解できるように講義を進めていきます。受講生は受動的な姿勢ではなく、自発的で積極的な姿勢が必要です。</p> <p><b>到達目標:</b>日本語とは語順の違う英語を、より早く、より自然に日本語訳できるように、つまり“理解”できるようになります。</p>			
授業内容(概要)/授業内容(毎週毎の授業内容を含む)			
<p>Unit の内容にそって、受講生に発言の機会を出来るだけ多く設けて進めていきます。多様なトピックについて多く取り上げられている Text です。Phrase Reading、Skimming-Scanning、Listening、意識の仕方、また、多種多様な単語、会話表現など、大学生に必要な Skill を Text で演習します。</p> <p>(受講要件)</p> <p>原則として全回出席をしなければ単位は成立しない。ただし、正当な理由で欠席する場合は個人指導を行う。(課外クラブ活動に関しては正当な理由とは認められません。) 講義、演習の妨害行為はモラルとして自重してください。目に余る場合は、退室及び辞退を申し入れます。</p> <p>第 1 回 4 月 1 6 日 Introduction  第 2 回 4 月 2 3 日 Unit 1 Mt. Everest Trash Turned Into Other Men' s Treasure  第 3 回 4 月 3 0 日 Unit 2 Palestinian Ensemble Gives Cultural Lesson to Americans  第 4 回 5 月 7 日 Unit 3 Zambian Children Get Their Education Over the Radio  第 5 回 5 月 1 4 日 Unit 4 Plan Calls for Brazilian Schoolkids to Drink Coffee  第 6 回 5 月 2 1 日 Unit 5 U.N. Member States Urged to Observe Olympic Truce  第 7 回 5 月 2 8 日 Unit 6 Jewish, Muslim Students Live Together to Promote Peace  第 8 回 6 月 4 日 Unit 7 Bosnian Soccer Club Shows Unity Can Work  第 9 回 6 月 1 1 日 Unit 8 Aceh Students Join Tsunami Recovery Efforts  第 10 回 6 月 1 8 日 Unit 9 Palestinian Rappers Fight Occupation with Music, Not Bombs  第 11 回 6 月 2 5 日 Unit 10 Beijing Suggests Rooftop Lawns for Cleaner Air  第 12 回 7 月 2 日 Unit 11 Start of School Year Signals Progress for Afghanistan  第 13 回 7 月 9 日 Unit 12 Tiny Chilean Clarinet Maker Crafts World' s Best  第 14 回 7 月 1 6 日 Unit 13 U.N. Vet Spreads Goodwill in War-Torn Lebanon  第 15 回 7 月 2 3 日 Unit 14 Environmentalists Offer Tips for Happy Green Holidays  第 1 6 回 8 月 6 日 Final Examination</p>			
キーワード			
教科書・教材・参考書	Message to Our Future 金星堂 各自持っている参考書、辞書(英和、和英)		
成績評価の方法・基準等	Class Attendance and Participation: 30% Examination: 70%		
受講要件(履修条件)	「授業内容」参照		
本科目の位置づけ/学習・教育目標			
備考(準備学習等)			

2010年度 前期	曜日・校時 金3	必修選択 必	単位数 1
授業コード 20100590009033 授業科目/(英語名)	●総合英語 I (Kb) Comprehensive English I		
対象年次 1年	講義形態 演習科目	教室 [全] 104	
対象学生(クラス等) Kb	科目分類 外国語科目		
担当教員(科目責任者) / Eメールアドレス/研究室/TEL/オフィスアワー 橋本 高明 / / 非常勤講師控室 / 緊急の場合は全学教育事務室へ / 金曜日昼休み			
担当教員	橋本 高明		
<b>授業のねらい/授業方法(学習指導法)/授業到達目標</b> <b>ねらい:</b> この授業科目では、以下に示す技能の習得をめざす。 1) 英語文中の構成素の文法的役割とそれらのあいだの修飾関係を正確に理解する。 2) 英語文構成素の文法的役割や修飾関係を正確に表現するメタ言語訳を作る。 3) メタ言語訳中の構成素の文法的役割や修飾関係を正確に表現する英語文を作る。 4) 各段落中の <b>topic sentence</b> を同定する。 5) 記事全体の構成の中での各段落の役割および段落間の関係を理解し、説明する。 <b>授業方法(学習指導法):</b> 各週の授業では、自然科学に関わる平易な記事を読み、音読により発音練習し、記事の英文の構造を正確に理解して日本語を用いたメタ言語訳を作る。また、記事の各段落について <b>topic sentence</b> を見つけ、記事全体の中でそれぞれの段落がどのような役割を果たしているか、段落間にはどのような関係があるかを判定する演習を行う。履修者は、各週の記事・練習問題をかならず予習し、発表準備をして授業に臨むこと。 <b>到達目標:</b> 上記「授業のねらい」の技能(1)~(5)について、担当教員の評価で 60%以上適切と評価される水準の言語技能を運用できるようになる。			
<b>授業内容(概要) / 授業内容(毎週毎の授業内容を含む)</b> 15回の授業を行う。期末試験は、16回目授業校時(8月6日)に行う。  第1回 4月16日 授業の内容・方法の説明、penmanship プリテスト、文法プリテスト 第2回 4月23日 Unit 1: Reasons/Conclusions, Reading 1: More scientists should be given managerial positions 第3回 4月30日 Unit 1: Reasons/Conclusions, Reading 2: Will there ever be a “paperless” society? 第4回 5月7日 Unit 2: Analysis (Social Phenomena), Reading 1: Text messages 第5回 5月14日 Unit 2: Analysis (Social Phenomena), Reading 2: Why was religion born? 第6回 5月21日 Unit 3: Analysis (Evidence), Reading 1: Dust clouds 第7回 5月28日 Unit 3: Analysis (Evidence), Reading 2: Why don't more girls take up science? 第8回 6月4日 復習1、中間試験 第9回 6月11日 Unit 4: Controversy, Reading 1: GM foods 第10回 6月18日 Unit 4: Controversy, Reading 2: Boy or girl? Choosing your baby's sex 第11回 6月25日 Unit 5: Comparison / Contrast, Reading 1: Global dimming 第12回 7月2日 Unit 5: Comparison / Contrast, Reading 2: What makes us feel pleasure? 第13回 7月9日 Unit 6: Classification, Reading 1: Branches of Biotechnology 第14回 7月16日 Unit 6: Classification, Reading 2: The digital divide 第15回 7月23日 復習2 第16回 8月6日 定期試験			
<b>キーワード</b>			
教科書・教材・参考書	教科書：Ishitani, Yumiko and Suzanne Embury. Outlook on Science and Technology. Tokyo: Nan'un-do, 2007. 参考書：小野経男『チャート式新英文法』東京：数研究出版，1990.		
成績評価の方法・基準等	この授業を履修して単位取得するためには、上記「授業のねらい」の(1)~(5)の技能について、担当教員の評価基準で、少なくとも60%以上適切とされる水準の言語技能を習得しなくてはならない。技能(1)および(2)、(4)、(5)についてはおもに授業発表を通して評価を行う。技能(1)および(3)については2回の筆記試験を通して評価を行う。成績は、原則として、2回の試験の評価を最終評価の80%、授業発表、宿題、提出物の評価を最終評価の20%とする。正当な理由なく6回以上欠席した者は期末試験受験資格を失う		
受講要件(履修条件)			
本科目の位置づけ/学習・教育目標			
備考(準備学習等)	宿題、その他の提出物を遅れて提出することは認めない。授業にはかならず辞書、教科書、筆記具、配布済みのハンドアウトを持参すること。やむを得ない事情(期末試験を欠席した場合に追試験が認められるような理由)で欠席した場合、公欠扱いを希望する者は、理由を明記した欠席届とやむを得ない理由を立証する証明書類(あるいはその複写)を提出すること。公欠扱いにならない理由で中間試験を欠席した場合には、中間試験を0点扱いとする。		

2010年度 前期	曜日・校時 金3	必修選択 必	単位数 1
授業コード 20100590009032 授業科目/(英語名)	●総合英語 I (Th) Comprehensive English I		
対象年次 1年	講義形態 演習科目	教室 [全] 205	
対象学生(クラス等) Th	科目分類 外国語科目		
担当教員(科目責任者) / Eメールアドレス/研究室/TEL/オフィシアワー 園田 健二 / kenji-s@nagasaki-u.ac.jp / 医学部保健学科 2階 / 095-819-7922 / 授業の前後			
担当教員	園田 健二		
<b>授業のねらい/授業方法(学習指導法)/授業到達目標</b> <b>ねらい:</b> 学生に興味がある簡単な教材を使って、英語の、リスニング、リーディング、ライティング能力が一層身につくようにする。 <b>授業方法(学習指導法):</b> TOEIC のテキストを使う。各 UNIT の練習問題は学生にそれぞれ答えを聞くので各自あらかじめやってくる。Listening Comprehension では、最初にテープを数回かける。また、Listening Comprehension: Part 1 では、ただ聞くだけでなく、聞いた簡単な問題の英文を学生にそれぞれ黒板に書いてもらう。Reading では学生にとって少し難解、または有益と思われる語句、文、文法事項はとりあげて説明を行う。Writing では各英文を各学生に黒板に書いてもらう。 <b>到達目標:</b> 英語の語彙について理解が一層深まること、簡単な英語の会話を聞いて、内容がある程度理解できること、文法の理解が増すこと、英文を読んで内容がある程度把握できること、簡単な英文が書けることを到達目標にする。			
<b>授業内容(概要) / 授業内容(毎週毎の授業内容を含む)</b> 授業内容(概要) 各 UNIT ごと、Word Match, Collocation, Listening Comprehension, Grammar, Reading Comprehension, Writing の全部について学習する。学生は各 UNIT を必ず前もって調べてくること。  第 1 回 4 月 1 6 日 Unit 1 finding a Job 第 2 回 4 月 2 3 日 Unit 2 Dining Out 第 3 回 4 月 3 0 日 Unit 3 Business Meeting 第 4 回 5 月 7 日 Unit 4 Travel (1) 第 5 回 5 月 1 4 日 Unit 5 Entertainment(1) 第 6 回 5 月 2 1 日 Unit 6 The Office 第 7 回 5 月 2 8 日 Unit 7 Shopping 第 8 回 6 月 4 日 Unit 8 Review and Further Practice(1) Unit 9 Entertainment(2) 第 9 回 6 月 1 1 日 Unit 10 Sales and Marketing 第 10 回 6 月 1 8 日 Unit 11 Technical Areas 第 11 回 6 月 2 5 日 Unit 12 Health 第 12 回 7 月 2 日 Unit 13 Finance 第 13 回 7 月 9 日 Unit 14 Travel(2) 第 14 回 7 月 1 6 日 Unit 15 Corporate development 第 15 回 7 月 2 3 日 Unit 16 Review and Further Practice(2)  8 月 6 日 (金) 定期試験			
<b>キーワード</b>			
教科書・教材・参考書	テキスト： Power-Up Practice for the TOEIC Test (Revised Edition) (TOEIC Test パウアーアップ・プラクティス)(改訂版) (英宝社、1900 円)		
成績評価の方法・基準等	定期試験 90%, 授業への参加の程度 10%		
受講要件(履修条件)			
本科目の位置づけ/学習・教育目標			
備考(準備学習等)			

2010年度 前期	曜日・校時 金4	必修選択 必	単位数 1
授業コード 20100590009039 授業科目/(英語名)	●総合英語 I (M15) Comprehensive English I		
対象年次 1年	講義形態 演習科目	教室 [全] 401	
対象学生(クラス等) M15	科目分類 外国語科目		
担当教員(科目責任者) / Eメールアドレス/研究室/TEL/オフィシアワー ペー シュウキ / / 非常勤講師室 / 095-819-2078(全学教育事務室) /			
担当教員	ペー シュウキ		
授業のねらい/授業方法(学習指導法)/授業到達目標			
ねらい:健康や環境を中心とした英語のニュース記事を読み、また関連するニュースを聞いた上で、自分の考えを話したり、コメントを書いたりすることで、各種スキルを向上させる			
授業方法(学習指導法):授業は毎回一 Unit ずつ進む。授業のねらいに沿って、毎回各種の活動を取り入れる。			
到達目標:英語のニュースを読んだり聞いたりして、理解した上で、その内容について自分の意見やコメントを英語で簡潔に表現できるようになる			
授業内容(概要) /授業内容(毎週毎の授業内容を含む)			
第 1 回 4月16日 オリエンテーション 第 2 回 Unit 2 "Humble" Potato Emerging as World's Next Food Source 第 3 回 Unit 3 Offices Use Ice to Cool Down and Save Power 第 4 回 Unit 4 Study: Exercise in Middle Age Cuts Risk of Alzheimer's 第 5 回 Unit 5 Egyptians Look to Desert for Hot Residential Property 第 6 回 Unit 6 College Students Feel Better After Screaming Together 第 7 回 Unit 7 Indian Dam Drowns Valley, Angering Farmers 第 8 回 Unit 8 Smoking Bans Could Cut into Cuban Cigar Sales 第 9 回 Unit 9 Global Warming Claiming Next Victim: Andes Water 第 10 回 Unit 10 Aborigines Still Rely on Bush Medicines for Remedies 第 11 回 Unit 11 African Farmers Seek Ways to Survive Droughts 第 12 回 Unit 12 Study: Fruity Cocktails May Be Good for Health 第 13 回 Unit 13 Rising Seas May Force Island Nations to Evacuate 第 14 回 Unit 14 Malaysians Getting Appetite for Healthier Eating 第 15 回 Unit 15 Planned Chinese City Wants All Eco-Friendly Power 第 16 回 8月6日 Final Exam			
キーワード			
教科書・教材・参考書	教科書: Healing Our World Today's Health and Environment News (南雲堂出版) 教科書は第一回目の授業時に教室にて販売します。		
成績評価の方法・基準等	Participation 30% Homework 30% Final Exam 40%		
受講要件(履修条件)	英英辞典(電子辞書可)を持参すること		
本科目の位置づけ /学習・教育目標			
備考(準備学習等)			



2010年度 前期	曜日・校時 金4	必修選択 必	単位数 1
授業コード 20100590009038 授業科目/(英語名)	●総合英語 I (Td) Comprehensive English I		
対象年次 1年	講義形態 演習科目	教室 [全] 104	
対象学生(クラス等) Td	科目分類 外国語科目		
担当教員(科目責任者) / Eメールアドレス/研究室/TEL/オフィスアワー 橋本 高明 / / 非常勤講師控室 / 緊急の場合は全学教育事務室へ / 金曜日昼休み			
担当教員	橋本 高明		
<b>授業のねらい/授業方法(学習指導法)/授業到達目標</b> <b>ねらい:</b> この授業科目では、以下に示す技能の習得をめざす。 1) 英語文中の構成素の文法的役割とそれらのあいだの修飾関係を正確に理解する。 2) 英語文構成素の文法的役割や修飾関係を正確に表現するメタ言語訳を作る。 3) メタ言語訳中の構成素の文法的役割や修飾関係を正確に表現する英語文を作る。 4) 各段落中の <b>topic sentence</b> を同定する。 5) 記事全体の構成の中での各段落の役割および段落間の関係を理解し、説明する。 <b>授業方法(学習指導法):</b> 各週の授業では、自然科学に関わる平易な記事を読み、音読により発音練習し、記事の英文の構造を正確に理解して日本語を用いたメタ言語訳を作る。また、記事の各段落について <b>topic sentence</b> を見つけ、記事全体の中でそれぞれの段落がどのような役割を果たしているか、段落間にはどのような関係があるかを判定する演習を行う。履修者は、各週の記事・練習問題をかならず予習し、発表準備をして授業に臨むこと。 <b>到達目標:</b> 上記「授業のねらい」の技能(1)~(5)について、担当教員の評価で 60%以上適切と評価される水準の言語技能を運用できるようになる。			
<b>授業内容(概要) / 授業内容(毎週毎の授業内容を含む)</b> 15回の授業を行い、16回目授業校時(8月6日)に期末試験を行う。 第1回 4月16日 授業の内容・方法の説明、penmanship プリテスト、文法プリテスト 第2回 4月23日 Unit 1: Bioplastics (1) 第3回 4月30日 Unit 1: Bioplastics (2) / Unit 2: Dandelions (1) 第4回 5月7日 Unit 2: Dandelions (2) 第5回 5月14日 Unit 3: Superbug Produces Ethanol (1) 第6回 5月21日 Unit 3: Superbug Produces Ethanol (2) / Unit 5: Electric Cars and Fuel Cells (1) 第7回 5月28日 Unit 5: Electric Cars and Fuel Cells (2) 第8回 6月4日 復習1、中間試験 第9回 6月11日 Unit 7: Wetlands in the Netherlands (1) 第10回 6月18日 Unit 7: Wetlands in the Netherlands (2) / Unit 9: Aluminum and the Environment (1) 第11回 6月25日 Unit 9: Aluminum and the Environment (2) 第12回 7月2日 Unit 14: Solar Box Cookers (1) 第13回 7月9日 Unit 14: Solar Box Cookers (2) / Unit 16: Super Rice (1) 第14回 7月16日 Unit 16: Super Rice (2) 第15回 7月23日 復習2 第16回 8月6日 定期試験			
<b>キーワード</b>			
<b>教科書・教材・参考書</b>	教科書：Nishimoto, Fumio. VOA Science for Today. Tokyo: Kinseido, 1996. 参考書：小野経男『チャート式新英文法』東京：数研究出版，1990.		
<b>成績評価の方法・基準等</b>	この授業を履修して単位取得するためには、上記「授業のねらい」の(1)~(5)の技能について、担当教員の評価基準で、少なくとも 60%以上適切とされる水準の言語技能を習得しなくてはならない。技能(1)および(2)、(4)、(5)についてはおもに授業発表を通して評価を行う。技能(1)および(3)については2回の筆記試験を通して評価を行う。成績は、原則として、2回の試験の評価を最終評価の80%、授業発表、宿題、提出物の評価を最終評価の20%とする。正当な理由なく6回以上欠席した者は期末試験受験資格を失う。		
<b>受講要件(履修条件)</b>			
<b>本科目の位置づけ/学習・教育目標</b>			
<b>備考(準備学習等)</b>	宿題、その他の提出物を遅れて提出することは認めない。授業にはかならず辞書、教科書、筆記具、配布済みのハンドアウトを持参すること。やむを得ない事情(期末試験を欠席した場合に追試験が認められるような理由)で欠席した場合、公欠扱いを希望する者は、理由を明記した欠席届とやむを得ない理由を立証する証明書類(あるいはその複写)を提出すること。公欠扱いにならない理由で中間試験を欠席した場合には、中間試験を0点扱いとする。		

2010年度 前期	曜日・校時 金4	必修選択 必	単位数 1
授業コード 20100590009037 授業科目/(英語名)	●総合英語 I (M13) Comprehensive English I		
対象年次 1年	講義形態 演習科目	教室 [全] 203	
対象学生(クラス等) M13	科目分類 外国語科目		
担当教員(科目責任者) / Eメールアドレス/研究室/TEL/オフィスアワー 池田 俊也 / t-iked@nagasaki-u.ac.jp / 教育学部本館 6階 (621号室) / 821-2092 / 在室時随時			
担当教員	池田 俊也		
<b>授業のねらい/授業方法(学習指導法)/授業到達目標</b> <b>ねらい:</b> ①大学入学時までには習得した、総合的な英語力をさらに伸ばすこと。とりわけ、「読み」「書き」「聞き」「話す」という4つのスキルのうち、「読解力」「聴解力」に重点を置く。 ②「読解力」指導については、内容に応じて、ボトムアップ、トップダウン的読解方法の実践指導を行う。 ③「聴解力」指導については、毎回行う小テストによって総力向上を図り、同時にコールシステムの積極的な活用を喚起する。 <b>授業方法(学習指導法):</b> ①「パラグラフ・リーディング」の養成を主眼とするテキストを使用し、ラピッド・リーディングの訓練を行う。内容的には日常生活の話題を扱ったコラムを主としたものであり、確実な理解がなされているかを練習問題を通して確認する。要点説明は各自にやってもらう。 ②あわせて、リスニングではこれまでに修得した聴解力をさらに伸ばすために、TOEIC Test に準じた問題集で毎時間小テストを実施する。 <b>到達目標:</b> ①要点を的確につかみ取る英語読解力と基本的な英語聴解力を身につけること。 ②TOEIC Test で800点以上の高得点を取れるような日常的な努力を、コールシステムなどの機材を活用する積極性を持つこと。			
<b>授業内容(概要) / 授業内容(毎週毎の授業内容を含む)</b>  以下のおおまかな順番で授業を進める。①は Reading 教材の内容、②は聴解教材のトピック。日付横の語句は当日のスキル目標である。  第1回 4月16日: 授業概要(テキストを通じた授業内容の説明) 読解 ①English Rakugo 聴解 ②Getting for a Business Trip 第2回 4月23日: Phrase Reading の実際 読解 ①Silent CEOs 聴解 ②Departure 第3回 4月30日: Words per Minute とは?速読の方法 読解 ①Cappadokia 聴解 ②On a Plane 第4回 5月7日: Topic sentence と Main idea 読解 ①Eco-cars 聴解 ②Arrival 第5回 5月14日: Passage 中の Topic Paragraph 読解 ①Finance for Kids 聴解 ② Meeting People 第6回 5月21日: Scanning の方法 読解 ①Jazz 聴解 ②Mini-Test 1 第7回 5月28日: 各種テストでの Scanning 利用 読解 ①Britain's National Trust 聴解 ②Making an Appointment 第8回 6月4日: Skimming の方法 読解 ①How Fast can Humans Run? 聴解 ②At a Hotel 第9回 6月11日: Paragraph Reading と Skimming 読解 ①Pitfalls of Statistics 聴解 ②Visiting a Company 第10回 6月18日: 未知語との遭遇(語彙の類推) 読解 ①Hot Springs 聴解 ②Small Talk 1 第11回 6月25日: テキストの展開(Time Order)について 読解 ①Abraham Lincoln 聴解 ②Negotiation 第12回 7月2日: テキストの展開(Cause and Effect)について 読解 ①Eating Oil 聴解 ②Mini-test2 第13回 7月9日: テキストの構造(Classification and Examples) 読解 ①We Love Sitcoms 聴解 ②Sickness and Injury 第14回 7月16日: Fact と Opinion の判別 読解 ①Regenerative Medicine 聴解 ②Transportation 第15回 7月23日: Critical Reading の実際 読解 ①Fair Trade 聴解 ②Presentation 第16回目 8月6日 定期試験			
キーワード			
教科書・教材・参考書	①土屋武久 他, Power Reading 2, 成美堂 ②西蔭浩子 他, A Strategic Approach to the TOEIC Test Listening, 成美堂		
成績評価の方法・基準等	期末筆記試験・小テストの結果(90%)と授業中の発表・授業への取り組み方(10%)など総合的に評価する。		
受講要件(履修条件)			
本科目の位置づけ/学習・教育目標			
備考(準備学習等)			

